

平成28年度

北部保健医療圏圏域別取組実施結果

目 次

小児医療(小児救急医療を含む)…	3頁
在宅医療(在宅歯科診療を含む)…	12頁
精神疾患医療……………	25頁
健康増進・生活習慣病予防対策 …	36頁
健康危機管理体制の整備充実……	62頁

事業名

小児医療(小児救急医療を含む)

目標

保護者等に対する救急時の対応方法やかかりつけ医を持つことの意義等に関する周知を図り、身近な地域で医療を受けられるようにします。また、小児初期救急体制に関する情報の普及啓発に努め、小児二次救急医療体制の整備を進め、保護者の不安を解消します。

主な取組

- 小児初期救急医療体制の整備
 - 小児二次救急医療体制の整備
 - 小児医療に関する適切な受診などの普及啓発
- 実施主体:市町、保健所、医師会、病院、民間団体(NPO法人など)

平成28年度 北部保健医療圏圏域別取組実績

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 災害時における医療救護活動</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう整備を進めた。</p> <p>【手順】 11月8日及び29日に、熊谷市消防本部及び熊谷総合病院を会場に、15人の会員が参加し、トリアージ訓練を行った。</p>	
実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	小児初期救急医療は休日急患診療所において日祝祭日の昼間と夜間で実施している。また、平成26年度より本庄総合病院でも平日1日夜間小児初期救急医療を実施している。医師会が管理運営する休日急患診療所においても平日夜間診療について会員の同意を得て実施することが求められている。また、医師会会員の医師数の問題もあり、行政サイドも大学病院等からの医師派遣について積極的に働きかけることが望まれる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 平日夜間診療の実施検討</p> <p>【対象】 行政、医師会会員</p> <p>【方法】 検討会の開催</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】 次年度7月より平日木曜夜間診療を開始することが決定した。</p>	行政、医師会及び会員等による会議を開催し平日夜間診療についての意見交換を行う。
実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 こども夜間診療所</p> <p>【対象】 15歳以下のこども</p> <p>【方法】 土・日・祝・年末年始、19:00から22:00に外来診療</p> <p>【手順】</p> <p>【実績等】 診療日数120日、患者数1,819人を診療した。</p>	広域での小児二次救急医療機関との連携を図る。

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 救急医療について知識の普及・啓発 【対象】 こども夜間診療所来所者 【方法】 「子どもの救急ミニガイドブック」の配置 【手順】 診療所窓口等に設置 【実績等】 会員医療機関及び休日急患診療所に待合等に配置した。	かかりつけの診療時間に受診するよう啓発する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	DMFTの減少を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 小児う蝕予防対策事業の推進 【対象】 保育園児・幼稚園児・小学生 【方法】 フッ化物洗口 【手順】 市内各保育園・幼稚園・小学校において、フッ化物洗口を実施する。 【実績】 市内各保育園・幼稚園・小学校において、フッ化物洗口を実施した。平成28年4月14日熊谷市小児う蝕予防対策事業フッ化物洗口概要説明会を行った。	熊谷市第2次健康増進計画の目標値の達成を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 ママ・パパ教室 【対象】 妊産婦、父親等 【方法】 講義による口腔衛生の啓発 【手順】 母子健康センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し、講義を行う。 【実績】 母子健康センターで開催されるママ・パパ教室に講師を派遣し、母子の口腔衛生をテーマに講義を行った(年8回)	1歳6か月健診時にう蝕が無いことを一つの指標としたい。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	休日・夜間急患診療所の夜間執務体制の充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】 休日・夜間急患診療所の夜間執務体制の充実</p> <p>【対象】</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初期救急医療の役割を担う夜間急患診療所における感染症流行時の医療体制の充実を図る。 ・休診の医療機関が多いことによって受診患者数の増加が見込まれる感染症流行時期の木曜日の夜間診療における看護師の増員。 ・受診患者数が増加する年末年始、5月連休、お盆期間、9月連休の夜間診療及び感染症流行時の夜間診療における医療スタッフ(医師、薬剤師、看護師)の増員。 ・二次救急医療機関との連携強化と診療体制の一層の充実。 <p>【実績等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年末年始、5月連休、お盆期間の夜間診療及び感染症流行時の土日や木曜日等の夜間診療において医療スタッフ(医師、薬剤師、看護師)を増員し、初期救急医療体制の充実を図った。 <p>[増員延べ人数]</p> <p>医師:33人、薬剤師:47人、看護師:10人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療機関との連携強化と診療体制の一層の充実が引き続き望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受診患者数の増加が見込まれる日や感染症流行時における医療体制の充実を図り、市民が安心して暮らせるよう医療提供の安定確保に努める。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	適切な受診方法や救急知識の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】 市報「みんなの健康」コーナーでの広報</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 休日・夜間急患診療所の案内(毎月) 埼玉県救急電話相談の紹介を掲載(9月)</p> <p>【手順】 全戸配布の市報「みんなの健康」コーナーに定期的に記事を掲載。</p> <p>【実績等】 休日・夜間急患診療所の案内(毎月掲載) 小児救急電話相談を含む救急電話相談の紹介をした(9月)</p> <p>【事業名】 「熊谷市くらしのカレンダー」での広報</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 毎年全戸に配布される「熊谷市くらしのカレンダー」に休日・夜間急患診療所、埼玉県救急医療情報センター、埼玉県救急電話相談、熊谷市の救急医療体制、消防指令センターを掲載。</p> <p>【手順】 全戸配布の「くらしのカレンダー」1ページを使い、記事を掲載。</p> <p>【実績等】 1ページを使い掲載した</p> <p>【事業名】 市ホームページ(モバイル版を含む)での広報</p> <p>【対象】 一般市民</p> <p>【方法】 市ホームページ「急な病気やケガをしたら」コーナーにて、病医院検索、休日・夜間急患診療所、救急医療ガイド、おかあさんのための救急&予防サイト、埼玉県救急電話相談を掲載。</p> <p>【手順】 市ホームページに記事を掲載。</p> <p>【実績等】 常時掲載、随時更新</p>	<p>毎月掲載 定期掲載</p> <p>毎年掲載</p> <p>常時掲載 随時更新</p>

実施機関	本庄市	
現状・課題等	小児二次救急輪番参加病院が少なく、拠点病院の小児科医が不足しているのが現状。当地域の救急患者は、地理的条件から隣県の医療機関へ多く受診している現状である。初期救急患者の多くが二次救急病院に受診している現状も踏まえ、今後も小児救急体制の整備を進める必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 小児救急医療体制の整備</p> <p>初期: 休日急患診療所運営事業 在宅当番医制事業 小児初期救急運営事業費負担事業(本庄総合病院)</p> <p>小児二次: 熊谷・深谷・児玉地区小児二次救急診療事業 (深谷赤十字病院・行田総合病院・熊谷総合病院) 児玉地区県外小児後方支援病院運営事業費負担事業 (藤岡総合病院)</p> <p>【対象】 小児</p> <p>【方法】</p> <p>初期: 休日急患診療所運営費補助(児玉都市4市町の負担) 在宅当番医制事業費補助(児玉都市4市町の負担) 平日夜間の小児初期救急病院運営費の一部負担 (児玉都市4市町の負担 本庄総合病院)</p> <p>小児二次: 小児二次救急病院の運営・後方支援(県北8市町の負担) 深谷赤十字病院の拠点病院化への推進 県外小児二次救急病院への負担金交付 (児玉都市4市町の負担 藤岡総合病院)</p> <p>【実績】</p> <p>初期: 休日急患診療所運営日数 71日 在宅当番医制事業 64日 小児初期救急(本庄総合病院) 50日</p> <p>二次: 小児二次救急(深谷赤十字病院) 309日 小児二次救急(行田総合病院) 139日 小児二次救急(熊谷総合病院) 52日 県外小児二次後方支援(公立藤岡総合病院) 41日</p>	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	子どもが病気になった時に気軽に相談できる体制整備や、適切な受診について普及啓発のため、訪問や健診を活用。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 赤ちゃん訪問(全数)</p> <p>【対象】 おおむね4ヶ月までの乳児及び保護者等</p> <p>【方法】 保健師及び助産師による訪問指導 (急病やけがの時の対応について説明、#8000の普及・啓発)</p> <p>【手順】 妊娠届け時・出生届時に周知し、電話連絡により訪問日を調整する</p> <p>【実績】 訪問件数(実訪問件数) 536件</p> <p>【事業名】 3～4か月児健診</p> <p>【対象】 3～4か月の乳児及び保護者</p> <p>【方法】 集団指導時に「子どもの救急ガイドブック」「大変危険です、子どもの誤飲」を配布・指導</p> <p>【手順】 対象者を抽出し、健診案内通知を郵送</p> <p>【実績】 健診受診児数 538人</p>	赤ちゃん訪問や健診時に、病気や怪我の対応に関する知識を深める場として、子育てにおける不安の軽減や解消に繋げる。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	小児初期救急医療体制の維持・充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 休日診療所 【対象】 市民 【方法】 休日などに、比較的軽症な患者の外来診療を行う 診療科目:内科・小児科 診療時間:午前9時～12時、午後2時～5時 (受付時間:午前9時～午前11時30分、午後2時～4時30分) 診療日:日曜、祝休日、年末年始(12月31日～1月3日) 【実績等】 診療日数 70日	休日急患診療所・こども夜間診療所の実施体制の維持・充実 ※H28年度中に診療所が移転する
	【事業名】 こども夜間診療所 【対象】 市民(小児) 【方法】 休日などに、比較的軽症な患者の外来診療を行う 診療科目:小児科(小児内科) 診療時間:午後7時～10時 (受付時間:午後7時～9時30分) 診療日:土曜、日曜、祝休日、年末年始(12月31日～1月3日) 【実績等】 診療日数 120日	

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	小児二次救急医療体制の充実・強化	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児二次救急医療体制整備 【対象】 市民 【方法】 熊谷、深谷、児玉地区を3病院の輪番により、平日の夜間及び休日、祝日、年末年始の日中・夜間の小児二次救急医療を実施する。小児救急医療医師派遣支援事業により、毎週水曜に熊谷総合病院、毎週木曜、日曜に深谷赤十字病院に医師派遣を実施。 【実績等】 診療日数 500日 ※毎週木曜・日曜夜間(104日)、水曜夜間(52日)は医師派遣で対応	小児二次救急医療体制の充実・強化

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	適切な受診などの小児医療に関する知識・情報の普及・啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児医療に関する知識・情報の普及・啓発 【対象】 市民 【方法】 小児救急電話相談(#8000)の活用やかかりつけ医をもつことの重要性や適切な受診について、救急医療の現状を含め、広報・講演会等で普及・啓発を図る。 【実績等】 市広報誌掲載(毎月)。市ホームページ掲載(随時)。福祉健康まつり、地域医療講演会で「#8000」及び「医療機関の適正なご利用を！」チラシを配付。その他、子育てガイドブック等啓発物資に掲載。	適切な受診など、小児医療に関する知識・情報の普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	赤ちゃん訪問でPRしている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児医療に関する適切な受診などの普及啓発 【対象】 住民 【方法】 広報みさとの掲載。赤ちゃん訪問等でチラシ配布。 【手順】 赤ちゃん訪問は全戸訪問実施。その際に、小児救急電話相談#8000・休日急患診療所・在宅当番医・救急医療情報センター・児玉郡市広域消防本部等の情報を提供している。県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を配布している。 【実績】 赤ちゃん訪問:73件	小児医療の普及と啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 休日急患診療所運営事業・在宅当番医制運営事業・病院群輪番制運営事業 【対象】 地域住民 【方法】 【手順】 【実績】 本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営	地域住民の急病患者の診療確保

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児救急医療支援事業 【対象】 小児 【方法】 ・熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ・熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業 ・藤岡総合病院後方支援事業 ・本庄総合病院後方支援事業 【手順】 【実績】 熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業及び熊谷・深谷・児玉地区医師派遣事業においては、熊谷市・行田市・深谷市・寄居町・本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営 藤岡総合病院後方支援事業及び本庄総合病院後方支援事業においては、本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営	休日・夜間を含め、小児救急患者の受け入れができる体制を確保する。

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児救急の知識や情報の普及啓発が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児救急の知識や#8000、休日急患診療所等の普及啓発 【対象】 乳幼児、小児をもつ保護者 【方法】 赤ちゃん訪問や6カ月児健診での説明及び広報、HP、チラシ、冊子での啓発等 【手順】 ・赤ちゃん訪問時等に県作成の救急ミニガイドブックも併せて配布 【実績】 赤ちゃん訪問:95人 乳幼児健診受診者数:517人	小児救急に関する知識の普及

実施機関	神川町	
現状・課題等	休日・夜間救急診療体制の充実を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児救急医療体制の整備 【対象】 小児及び全住民 【方法】 ・休日急患診療所運営事業 ・在宅当番医制事業 ・小児初期救急運営事業負担事業(本庄総合病院) 【手順】 【実績】 本庄市・美里町・神川町・上里町の負担金により運営	

実施機関	神川町	
現状・課題等	小児2次救急医療体制の充実を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児二次救急医療体制の整備 【対象】 小児 【方法】 ・熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業 ・医師派遣事業 ・病院群輪番制病院運営事業 ・県外小児救急医療後方支援事業(公立藤岡総合病院) ・小児救急医後方支援事業(深谷赤十字病院) 【手順】 【実績】 ・県北6市町または郡市4市町の負担金により運営	

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児初期救急医療体制の整備・充実及び利用の啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ①休日急患診療所運営事業②在宅当番医制事業 ③小児初期救急診療業務(本庄総合病院) 【対象】 小児をはじめとした地域住民 【方法】 児玉郡市4市町の負担金により運営し、本庄地域定住自立圏協定による取組をする。 【手順】 本庄市児玉郡医師会と連携し、広報・ホームページで引き続き周知を図り、利用者のニーズに合った診療体制を確保する。 【実績】 本庄総合病院での小児初期救急診療(火曜日夜間)は継続。軽症患者についてはかかりつけ医の受診を促し、適正な医療受診について啓発を行った。	比較的軽症な患者の受診について、本庄児玉郡内の初期救急医療体制の充実。

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児二次救急医療体制の整備が課題であるが、医師不足により土曜日夜間が手薄になるなど早急に対応が必要	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ①熊谷・深谷・児玉地区小児救急医療支援事業②医師派遣支援事業 ③病院群輪番制病院運営事業医師派遣事業 ④県外小児後方支援病院(藤岡総合病院) 【対象】 小児をはじめとした地域住民 【方法】 ①②については県北8市町、③④については児玉郡市4市町の負担金(群馬県)医療機関への搬送ケースが多い状況から、費用負担等による連携を模索する。 【手順】 現在手薄になっている曜日・時間の受け入れ体制確保。小児二次救急及び後方支援の実施に係る課題の解決を目指す。 【実績】 藤岡総合病院と県外小児後方支援を開始した。小児二次救急については、土曜の夜間の拡充にはいたらなかった。	熊谷・深谷・児玉地区の広域連携により、小児二次救急医療の体制強化、拡充。

実施機関	上里町	
現状・課題等	小児医療に係る知識、情報の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 小児医療についての知識・情報の普及啓発</p> <p>【対象】 小児を持つ保護者</p> <p>【方法】 赤ちゃん訪問、健診などで個別に周知する。また広報誌やHPなどにより普及啓発を行う。</p> <p>【手順】 県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」に休日急患診療所や消防本部など郡内の情報も盛り込み、赤ちゃん訪問時に配布する。健診では事故予防のちらしを配布。広報誌・HPを活用して小児を持つ保護者に引き続き普及啓発を行う。</p> <p>【実績】 ガイドブック、ちらしを活用した広報活動を実施。#8000については年度中4回「広報かみさと」に掲載し、周知を図った。</p>	初期、二次、三次救急についての知識や情報の普及に努め、それぞれの適正受診を促す。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	救急医療体制の維持・強化を図るため、関係機関との連携を強化する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 救急医療確保事業</p> <p>【対象】 全住民</p> <p>【方法】 熊谷・深谷・児玉地区における小児救急支援事業の継続 救急医療対策事業運営費負担金の継続</p> <p>【実績】 事業継続が図れ、救急医療の確保ができた。</p>	事業を継続し、地域の救急医療体制を維持する。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	適正な医療機関受診に関する普及啓発を図る	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 適切な受診に関する普及啓発事業</p> <p>【対象】 全住民</p> <p>【方法】 広報・ホームページの活用 パンフレットの配布</p> <p>【実績】 こんにちは赤ちゃん訪問、3歳児健康診査で、救急ガイドブックの配布を行った。また広報 月号に救急の日の掲載・町公式ホームページに情報の掲載を行うことができた。</p>	広報・ホームページ掲載

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	小児救急医療体制の整備、充実	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】小児救急医療支援事業</p> <p>【対象】二次医療圏</p> <p>【方法】輪番病院を確保し、小児救急医療支援事業を充実・強化する。</p> <p>【手順】小児二次輪番病院と輪番日や医師派遣事業について調整を図り、日中、夜間ともに365日全日確保する。</p> <p>【実績等】第1, 3, 5土曜を除き、当番体制を確保し、3病院の輪番により、夜間337日、休日昼間66日実施。 小児救急医療担当医会議(平成28年10月17日)、熊谷・深谷地区、児玉地区救急医療支援事業市町担当課長(平成28年4月15日、10月7日)を開催。</p>	小児救急医療支援事業提供体制の維持 支援事業の円滑な実施
	<p>【事業名】小児救急医療啓発事業</p> <p>【対象】乳幼児をもつ保護者等</p> <p>【方法】市町の保健センター等を通じて啓発シールを配布する。</p> <p>【手順】#8000周知のためのオリジナルシールを印刷し、熊谷・深谷地区及び児玉地区救急医療圏内の市町に保護者等への配布を依頼。 適正受診について啓発する。</p> <p>【実績等】小児救急電話相談(#8000)周知のためのオリジナルシールを5,000枚作成し、熊谷・深谷地区、児玉地区の8市町の保健衛生主管課に乳幼児の保護者等への配布を依頼した。</p>	#8000事業の周知
	<p>【事業名】小児救急医療啓発事業</p> <p>【対象】乳幼児をもつ保護者、支援者</p> <p>【方法】小児救急法セミナーの開催</p> <p>【手順】AED心肺蘇生法、身近な物を使った救急法のセミナーを開催し、子ども救急時に慌てず適正受診できるよう研修する。</p> <p>【実績等】小児救急法セミナーの開催 (熊谷市と共催)7月19日 32名、 (深谷市と共催)2月1日 16名、3月2日 15名</p>	小児医療における適正受診の推進

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	初期救急は平日夜間の診療体制の拡充、小児二次救急においても強化が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】小児救急医療支援事業</p> <p>【対象】</p> <p>【方法】</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】</p> <p style="text-align: center;">熊谷保健所と共通</p>	小児救急医療支援事業提供体制の維持、拡大支援事業の円滑な実施

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	休日急患診療所及び二次救急輪番病院における適正受診を図るため、さらなる住民への周知が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】「#8000」等の広報</p> <p>【対象】管内の住民</p> <p>【方法】市町広報等による啓発</p> <p>【手順】管内市町等の関係機関と連携し、「#8000」を利用した適正受診について啓発する。</p> <p>【実績】 ・来客の目につくところに「#8000」の啓発用ポスターを掲出した。 ・管内市町では広報誌等により「#8000」を周知するなど、適正受診の啓発を行った。 ・「#8000」啓発用ティッシュをJR駅前2回(合計1700個)配付した。</p>	救急医療情報の周知度を高める

事業名 在宅医療(在宅歯科診療を含む)

目標 在宅医療を必要とする住民に適切な情報が届くよう、在宅医療に関する情報提供を充実させます。また、在宅医療が円滑に展開されるよう、地域の診療所と病院との医療連携など、在宅医療に関する環境整備に取り組みます。さらに、医科・歯科・看護・薬局など在宅医療に関わる医療関係者、介護・福祉の関係者間の連携構築を図ります。

主な取組 ■在宅医療に関する情報提供
 ■在宅医療が円滑に実施されるための環境整備
 ■医療関係者及び福祉・介護関係者間の連携体制の構築
 実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、福祉・介護施設

平成28年度 北部保健医療圏圏域別取組実績

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療提供体制充実支援事業 【対象】 一般市民 【方法】 県の補助を活用し、在宅医療提供体制充実支援事業を実施した。 【手順】 熊谷在宅医療支援センターを熊谷慈恵病院に継続し設置した。在宅療養支援ベッドを3医療機関の輪番で確保した。登録された往診医が16名、患者が79名となった。	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	平成27年度より医師会訪問看護ステーション内に在宅医療の拠点を設置した。今後、医師、介護職員及び連携病院等の情報共有等を進め、この地域の実情にあった在宅医療を推進する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療推進事業 【対象】 医師、看護師、介護士及び連携病院等 【方法】 ICTを利用した患者情報の共有事業を実施する。 【手順】 【実績】 ICT説明会を数回実施した。また、そのシステムにおける個人情報の取扱いの規定を作成した。	患者情報共有システムの導入とそのシステムにおける個人情報の取扱い等の規定の作成。

平成28年度	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷寄居在宅医療連携室 【対象】 在宅療養患者 【方法】 在宅医療連携拠点にコーディネータを配置 【手順】 医療・介護連携ネットワークの構築 メディカルケアステーションのシステム導入 【実績等】 9月、在宅医療連携拠点にコーディネータを配置し、深谷寄居在宅医療連携室を開設した。 10月に相談窓口業務開始し、3月までに15件の相談を行った。 1月に在宅療養支援ベッドを運用開始し、75日ベッドを確保した。 往診医の登録を18件、登録患者を29件行った。	往診医の登録 患者情報の共有 在宅療養支援ベッド確保

平成28年度	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 歯科訪問診療 【対象】 在宅療養者 【方法】 訪問診療 【手順】 受診希望者は熊谷市歯科医師会事務局へ連絡、予備診査の後、かかりつけ歯科医がある場合はそちらで、無い場合には歯科訪問診療推進委員会で対応した。 【実績】 平成28年度は553名に対して歯科訪問診療を実施。	在宅療養者の口腔の健康の向上を図り、口から食べられる状態を維持し、QOLの向上を目指す。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	熊谷総合病院、熊谷生協病院と連携し、良好な関係を築いている。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 口腔アセスメント 【対象】 入院患者 【方法】 連携病院への訪問 【手順】 歯科訪問診療推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会の委員が連携病院へ訪問、アセスメント表を用いて実施。 熊谷総合病院、熊谷生協病院の入院患者82名に口腔アセスメント実施 歯科訪問診療実施	入院期間中の口腔機能の低下を防ぐとともに、誤嚥性肺炎等を予防する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	熊谷総合病院、熊谷生協病院と連携し、良好な関係を築いている。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 口腔アセスメント 【対象】 入院患者 【方法】 連携病院への訪問 【手順】 歯科訪問診療推進委員会、地域包括ケアシステム推進委員会の委員が連携病院へ訪問、アセスメント表を用いて実施。 熊谷総合病院、熊谷生協病院の入院患者82名に口腔アセスメント実施 歯科訪問診療実施	入院期間中の口腔機能の低下を防ぐとともに、誤嚥性肺炎等を予防する。
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 歯科訪問診療推進委員会 【対象】 会員及び歯科衛生士 【方法】 年間数回の委員会を実施し、情報交換、検討を行った 【手順】 年1回地域包括ケア推進委員会との合同会議を行った 【実績】 平成28年8月26日 地域包括ケア推進委員会に出席。歯科衛生士との情報交換および感染予防のためのガウンテクニックの研修を行った。 平成28年10月24日 第1回埼玉県北部保健医療圏地域保険医療協議会在宅医療介護連携推進専門部会 平成28年10月28日 ICTによる医療・介護ネットワーク説明会 平成28年11月15日 大里広域市町村圏組合熊谷市医療・介護連携及び認知症策推進会議在宅医療・介護の供給体制構築検討部会 平成28年11月22日 熊谷市医師会看護専門学校 在宅医療についての講義 平成28年12月19日 埼玉県地域医療構想説明会 平成29年3月13日 第2回埼玉県北部保健医療圏地域保険医療協議会在宅医療介護連携推進専門部会に出席した。 熊谷市内の施設(高齢者施設4か所、障害者施設2か所において担当の衛生士が、口腔ケアや、レクリエーションをとり入れた嚥下体操を行う歯科教室、職員向けの講習会等を行った。 年2回熊谷市報に歯科訪問診療について掲載した。	委員会を開催し、意見交換を行うことにより、訪問診療をより円滑に行う。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	高齢化社会が進み、在宅歯科診療の必要性が重視されている	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅歯科医療推進窓口開設</p> <p>【対象】本庄市児玉郡在住の在宅歯科を希望される方。(080-2164-8020)</p> <p>【方法】本庄市児玉郡歯科医師会の事務所に在宅医療推進窓口を設置し、歯科衛生士を雇用、受付業務を担当してもらっている。</p> <p>【手順】患者さんから連絡をうけてから、なるべく近く会員の先生方に協力して頂くシステム。必要な機材は、歯科医師会事務所に準備してある。</p> <p>【実績】行政や医師会、その他職種の連携により周知、利用されるようになってきた。</p>	住民の方に歯科医師会における、在宅歯科医療推進窓口を周知して頂く。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	病院内の患者さんにおける口腔内の状況、改善、重要性について理解して頂く。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】口腔アセスメント事業</p> <p>【対象】青木病院</p> <p>【方法】毎月第3木曜日に、2名を口腔アセスメントしていく。</p> <p>【手順】(アセスメントとは、利用者がどんな状況で何を求めているのから知る事)</p> <p>【実績】年間を通して実施し、治療につながっていく例が多くなってきた。</p>	医師、歯科医師、医療従事者が口腔アセスメントについての理解、重要性を理解して頂く。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業(拠点施設の設置・衛生士確保・病院アセスメント・多職種連携)を基に在宅歯科医療の充実化を進める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅歯科医療推進事業</p> <p>【対象】郡市歯科医師会会員・拠点施設衛生士</p> <p>【方法】定例会にて説明及び協力依頼、勉強会の実施</p> <p>【手順】チラシによる広報活動・在宅診療の受付、歯科医師の紹介等 年間約20件の診療依頼受電・紹介 約30件の訪問機器貸出し</p>	在宅歯科医療の相談・診療実績の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	在宅歯科医療推進事業歯科医師会会員のスキルアップを図り、協力歯科医院の増加を目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】大里郡市在宅歯科診療懇談会</p> <p>【対象】郡市歯科医師会会員・拠点施設衛生士</p> <p>【方法】勉強会や症例検討会、ケアマネとの交流</p> <p>【実績】平成28年～29年度は7月、9月、1月、4月に開催各回20～30名の参加訪問診療の方法、保険請求、ケアマネとの交流や訪問機材の使い方説明、過去の症例発表や具体的な悩みの共有などを行なった。</p>	在宅歯科医療の相談・診療実績の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	障害者の口腔状態の把握と職員に対する歯科口腔保健の普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 社会福祉法人「花園」歯科健診 【対象】 「花園」入所者・通所者 約100名 【方法】 歯科医師会会員の先生10名による歯科健診 【実績】 平成28年10月6日(木)9:30-11:00 「花園」入所者・通所者 合計113名を歯科健診	対象者の口腔状態の向上

実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	小規模障害者施設の職員・家族に対する歯科口腔保健の啓蒙	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 障害者等歯科保健医療推進事業 【対象】 障害者支援施設職員・家族 【方法】 歯科医師会会員が施設に赴き、お口の健康についてのミニ講演を行ない、職員家族の歯科口腔保健に対する日頃の悩みや疑問点に答える。 【実績】 平成28年度は3施設 約70名の職員、家族に対して、ミニ講演や保健指導を行なった。	実施施設の増加

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	広域的無菌調剤室の活用。介護支援専門員等の介護職との連携。 薬剤師の在宅医療におけるスキルアップを図る。 地域の診療所や病院との医療連携など、在宅医療に関する環境整備に取り組みます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	<p>【事業名】在宅医療研修会・医療薬学研修会</p> <p>【対象】会員、勤務薬剤師、近隣薬剤師</p> <p>【方法】研修会の開催、研修会や他職種との連絡会議等への参加</p> <p>【手順】在宅患者の把握と医師への現況に関する情報提供方法の習得、 薬剤師による在宅業務が円滑に行われるようにするための研修の 実施、医療機関や介護関連職との連絡会議等への出席</p> <p>【実績等】1. 以下の研修会活動を行いました。 4/21 在宅医療研修会 5/15 在宅医療地域担当者会議 10/23 地域包括ケアシステム研修会 10/25 地域医療連携懇談会 10/28 ICTによる医療・介護連携ネットワーク説明会 1/24 在宅医療・介護連携推進研修会</p> <p>2. 医療機関や介護職との連携の構築のため、以下の活動を行いました 5/15 在宅医療地域担当者会議参加 9/17 世界アルツハイマーデー街頭キャンペーン参加 10/24 北部医療券連携推進会議参加 11/15 在宅医療・介護の供給体制構築検討部会参加 3/13 在宅医療・介護連携推進専門部会参加 6/22, 6/28, 7/19, 7/26, 8/23, 8/25, 2/10, 2/22, 3/10 地域ケア会議への会員の派遣(市内の地域包括支援センター等)</p> <p>3. 無菌調剤室の共同利用促進のため、以下の活動を行いました。 4/30太田市薬剤師会視察 9/8共同利用検討会議 10/13共同利用のための全体研修会 11/5, 12/3, 12/10, 12/17, 1/21無菌調剤実地研修会</p>	<p>1.在宅医療の実現のため、患者に即した服薬の助言等を提案出来るように研修会活動を行う</p> <p>2.医療機関や介護職との連携の構築</p> <p>3.無菌調剤室の共同利用の促進</p>

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	高齢化により、まさに老々介護が増加している。家族の介護負担を減らすためデイサービス利用者や施設入所者も増加している。そのような中で、在宅医療が円滑に進められるようにする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療の啓発及び、情報提供 【対象】 地域住民 【方法】 県薬作成のリーフレット等を活用 【手順】 お薬手帳の有効利用。残薬について説明し無駄をなくす。 【実績】 お薬手帳の持参率及び活用が増加傾向になった。	薬剤師も在宅医療に関わり、お薬手帳等を利用して、服薬指導や、残薬整理を行う。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	年々、在宅医療が増加傾向にあるが、薬剤師の訪問は少ない。今後は、訪問が増えるので、環境整備をすすめる必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療受け入れ環境の整備 【対象】 会員薬局の薬剤師 【方法】 研修会等を開催し、訪問できる薬剤師を増やす。 【手順】 定期勉強会時に在宅関連の講習会を開催。また、在宅ステップアップ講習会に参加する。 【実績】 在宅ステップアップ講習参加者が増えた。	今年度も在宅ステップアップ講習会が予定されているので、多くの会員に参加してもらおう。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	昨年度は、情報交換会を行ったが、今年度も引き続き行なう。多職種との連携は欠かせない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 多職種連携体制・情報共有の構築 【対象】 医療・福祉・介護関係者 【方法】 ネットを利用した連携とともに現場の意見もきく。 【手順】 ケアマネや介護従事者と情報交換会をおこなう。 【実績】 多職種連携の交流会を通して、意見交換を行った。	多くの薬剤師が多職種と連携し薬剤師に出来る事を、アピールしたり、要望を聞く。

平成28年度	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関する薬剤師の知識向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療に関する講習会・勉強会を実施します 【対象】 薬剤師会会員 【方法】 薬剤師会会員の在宅医療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を実施します。 【手順】 薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。 【実績等】 ①11/13および11/20 無菌調剤室共同利用のための研修会開催 場所:さんあい薬局 時間:13:00~16:00 参加者:20名 ②12/7 埼玉県北部薬業連携協議会研修会 ポリファーマシーについて 場所:深谷赤十字病院多目的ホール 時間:18:45~21:00 参加者:約100名	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師と在宅医療のかかわりについて地域住民に啓蒙します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 薬剤師と在宅医療について地域住民に伝えため、健康まつり等に参加し、在宅介護相談を実施します。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【方法】 健康まつり等に参加し、薬剤師の役割を伝えます。</p> <p>【手順】 健康まつり等で介護相談に対応します。</p> <p>【実績等】 ①薬と健康フェア(熊谷薬剤師会主催)に共催として参加。日時:6月26日 場所:江南ピピア</p> <p>②森の音楽祭INみどりの王国 に参加。薬剤師会ブースにて在宅医療相談を実施。日時:10月16日 場所:ふかやみどりの王国</p> <p>③深谷市福祉健康まつりに参加。薬剤師会ブースにて在宅医療相談を実施。また大人用おむつの試供品配布をおこなった。日時:10月29日・30日 場所:深谷市ビッグタートル</p> <p>④梅まつりINみどりの王国 に参加。薬剤師会ブースにて在宅医療相談を実施。日時:3月4日・5日 場所:ふかやみどりの王国</p>	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	在宅医療に関わる他職種との連携強化をはかります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 在宅医療をすすめるため、深谷市薬剤師会名簿に在宅医療に関する項目を設け、地域医療機関に発信できるようにします。</p> <p>【対象】 深谷市薬剤師会会員</p> <p>【方法】 在宅への取り組み、無菌調剤の可否を含めた名簿の作成をします。</p> <p>【手順】 在宅への取り組み、無菌調剤の可否を含めた名簿の作成をします。主要医療機関および関係機関への名簿配布をします。</p> <p>【実績等】 薬剤師会会員名簿を作成し、希望のあった関係機関に配布した。また在宅医療において薬剤師のできることを積極的に発信した。</p>	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康まつりで来場者にパンフレット配布し、また同会場内にある寄居町社会福祉協議会にも同じものを置いていただき告知の助けをしていただいています。なんとか本年中に当会ホームページ中に専用サイトの作成準備中です。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 在宅医療に関する情報提供</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【方法】 独自のパンフレットを作成し配布する。</p> <p>【手順】 平成28年10月25日健康まつりにおいて来場者に配布する。また寄居薬剤師会のホームページにおいて在宅医療に関する情報を随時掲載する。</p> <p>寄居薬剤師会のホームページ～http://www1a.biglobe.ne.jp/ypa/</p> <p>【実績等】 10月23日健康まつりに在宅医療に関連したパンフレット316部を配布しました。</p>	10月23日健康まつりに在宅医療に関連したパンフレット300部を配布し告知する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	環境整備においてはハード、ソフト両面において立ち遅れている状況ですので、患者様の声を聞きながら、その需要を把握してそれについてどう対応できるか、今はできないがいつぐらいには可能性が出てくるのかという点を会員同士で学んでいきたいと存じます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅医療が円滑に実施されるための環境整備</p> <p>【対象】会員薬局の薬剤師やスタッフ</p> <p>【方法】薬局薬剤師が在宅医療にどのようにかかわっていくのか研修する。</p> <p>【手順】在宅の現場において薬剤に関する困り事やトラブルの具体例を把握し、その対応マニュアルを作成し、会員薬局に配布する。会員薬局においては平成28年8月28日の在宅医療推進ステップアップ講習会に参加して在宅訪問を円滑に進められるように努めます。</p> <p>【実績等】在宅医療推進ステップアップ講習会に当会から9名の出席者があり、その受講者は次のステップ4の講習を受講することができますが、12月開催のそのステップアップ講習会に何人出席したか把握しておりません。</p>	会員薬局において、個別に活動し評価します。また研修会の折に特記的な事例はその会員薬局に発表する機会を設けます。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	連携体制の構築はまだまだ端緒の状況と思われしますので、情報発信をしながら先進地区の方の助言や役立つ情報を求めたりします。多職種の方と連携する意義は理解しているもののなかなか実行に移すことが多職種の方と連携する意義は理解しているもののなかなか実行に移すことが一緒にできることが出てくると考えます。また旧花園町地区・旧川本町地区においては行政区のくりで深谷市の地域包括ケア協議会が5月にスタートして多職種間で顔の見える関係づくりの方策の検討が始まりました。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅医療が円滑に実施されるための環境整備</p> <p>【対象】会員薬局の薬剤師やスタッフ</p> <p>【方法】多職種が集う会議に参画し在宅医療にどのようにかかわっていくのか研修する。</p> <p>【手順】平成28年8月より始まる「寄居町共助のまちづくりネットワーク会議」に参画して行政や多職種、福祉関連の事業者様などさまざまな分野の皆様と連携しそれぞれの役割を果たし、情報や課題を共有して共助の町づくりを目指します。</p> <p>【実績等】平成28年10月23日健康まつりにおいて埼玉よりい病院の看護師、理学療法士の皆さんと一緒に活動しました。平成29年2月15日介護連携推進協議会にて医師、看護師、介護士、在宅関係の行政の方とターミナルケアの患者様の退院調整という事例検討会に出席し、研修しました。</p>	共助の町づくりネットワーク会議の中で薬に関する困り事などを把握してその解決に取り組めます。引き続き寄居町社会福祉協議会にパンフレットをおいて必要な方に配布する。

平成28年度	熊谷市	
現状・課題等	在宅医療が円滑に展開されるよう、在宅医療にかかわる医療と介護の関係者の連携を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅医療の専門部会で課題の検討</p> <p>【対象】行政、医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護事業者</p> <p>【方法】医療介護の両従事者の連携により事業を推進する</p> <p>【手順】医療介護の従事者による検討会で、在宅医療に関する課題の抽出を行い、解決方法について検討する。</p> <p>【実績等】関係職種の代表による会議を開催し、課題の抽出を行っている。県が主催する説明会に参加した。</p>	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	多くの患者は病気に罹患しても、できる限り住み慣れた家庭において家族とともに生活することを希望している。しかし、在宅での療養生活を可能にするためには、医療、介護、福祉等のサービスが整わなければ安心して生活することは難しい。平成25年度～27年度の3年間実施されてきた在宅医療推進モデル事業の成果を引継ぎ、在宅医療・介護連携を推進する。また、医師会を中心とした在宅医療相談拠点事業、歯科医師会を中心とした在宅歯科相談拠点事業も開始するため、各関係機関における役割機能や連携のあり方等含め調整・検討の機会を作っていくことも重要となる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅医療・介護連携推進事業</p> <p>【対象】在宅医療を必要とする市民およびその家族等</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護の資源を把握し、サービス整備に活用する。 ・在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討のため在宅医療等推進協議会を開催する。 ・切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築。 ・在宅医療ガイドブックを活用し、医療・介護関係者の連携の強化を図る。 ・在宅医療・介護連携に関する相談支援体制を強化する。 ・医療・介護関係者を対象とした研修会の開催。 ・地域住民への普及啓発。 <p>【手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報やHP等で周知を図る。 ・専門講師を招いて多職種連携研修会及び住民向け在宅医療講演会を開催する。 <p>【実績】在宅医療等推進協議会を開催し、在宅医療を推進する体制づくりや支援体制、医療・介護関係者の連携・提供体制等について協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報連携(ICT)のための研修・導入を図った。住民への普及啓発として市民公開講座を開催した。 <p>相談支援体制強化のため、地域包括支援センターに在宅医療担当を配置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談や研修会等においてガイドブック活用した。(新たな医療機関・事業所等について追記したもの) ・本庄市児玉郡1市3町で情報共有や連携の会議を開催した。 	事業の進行管理、進捗状況、人材育成の実績等

平成28年度	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業を実施することとなったが、市内の医療関係者や介護職員等の連携を図る機会は少なく、課題もみられた。深谷市における在宅医療と介護部門の連携を図るための課題の抽出と対応策の検討が必要となっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】在宅医療・介護連携推進会議</p> <p>【対象】医師、歯科医師、薬剤師、包括、ケアマネ協議会、訪問看護、保健所等</p> <p>【方法】年4回程度</p> <p>【手順】地域の医療・介護関係者が参画する開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出と対応策を検討する。</p> <p>【実績】在宅医療・介護連携推進会議 3回(5月、8月、11月)</p>	在宅医療・介護連携推進会議開催数

実施機関	美里町	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】障害者歯科相談医制度</p> <p>【対象】障害(児)者・要介護高齢者</p> <p>【方法】</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】相談があった方には、障害者歯科医を紹介(1件)</p>	障害者歯科主任相談医との連携を図る。

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	地域支援事業(包括的支援事業の取り組み)の『在宅医療・介護連携推進事業』の8項目のうち、(ア)に着手。各項目については、町内の取り組みだけでなく、郡市医師会の支援を受けたり、児玉郡内市町との連携を図りながら実施していく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進事業 (ア)地域の医療・介護の資源の把握 【対象】 町内の医療機関・薬局・入所できる介護施設など 【方法】 町内の医療機関・薬局・入所できる介護施設にアンケートを実施 【手順】 町内の医療機関・薬局・入所できる介護施設などに地域包括支援センター担当職員が訪問し、アンケートを実施(聞き取り調査)。アンケート内容をまとめ、アンケート協力機関に配布し、情報共有する。 【実績】 地域の医療・介護の資源の把握の為、町内各施設を訪問の上、聞き取り調査を実施。情報のリスト(フラットファイルにまとめる)を作成し、協力機関に配布を行った。	アンケート内容をまとめ、医療・介護情報のリストを作成し、協力機関等に配布する

実施機関	神川町	
現状・課題等	在宅医療・介護連携の推進については、現状では本庄市・児玉郡圏域を中心に整備された拠点と連携し、支援ベットの確保やICTネットワーク構築による関係機関の情報共有・連携作業など段階的に進められている、今後はこの分野の需要に対応し得る関係多職種の連携強化が課題	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 地域支援事業(在宅医療・介護連携の強化) 【対象】 医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者 【方法】 居宅に関する医療・介護の連携を強化する 【手順】 情報共有、関係者の資質向上、提供体制安定化、住民へ普及啓発等 【実績】 医療・介護事業所の資源マップを作成 医師会及び郡市共同で在宅医療の研修会の開催 ICF(情報推進技術)をいかし、情報共有のためのタブレットを介して在宅・介護連携を開始	該当ケースへの的確な対応

実施機関	神川町	
現状・課題等	障害者歯科相談医制度について十分に周知されていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 障害者歯科相談医制度周知 【対象】 障害(児)者、難病患者等 【方法】 広報誌・HP掲載・窓口PR 【手順】 相談時に障害者歯科医を紹介 【実績】 相談があった方には、障害者歯科医を紹介。	障害者歯科相談制度について知り、診療を受けたい障害者や要介護者が早期に受診できる

実施機関	上里町	
現状・課題等	障害者在宅医療については体制が十分には整備されていない。歯科診療については随時相談を受け、希望者については埼玉県障害者歯科相談医制度の利用を勧めている。 障害者歯科保健医療体制について十分に周知されていない。大学病院等をかかりつけ医としている方が多い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 埼玉県障害者歯科相談医制度 【対象】 障害者、難病患者 【方法】 周知方法: 広報・ホームページ 【手順】 相談・利用申請等: 障害福祉担当へ電話または窓口相談 ①相談②障害福祉担当が紹介状作成③診療日連絡(歯科医→患者) ④診察(状態により、歯科医院または在宅) 【実績】 0件	障害児・者が身近な地域の歯科医院でも安心して治療を受けられるようにする。 (利用件数)

実施機関	寄居町	
現状・課題等	往診など対応できる医療機関が少ない。在宅医療が円滑に実施されるための環境整備が必要。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療啓発事業 【対象】 全住民 【方法】 在宅医療に関する情報の収集をし、住民への啓発に努める 【実績】 保健所主催の地域医療福祉連携会議へ参加し、情報の収集が行なえた。	在宅医療に関する情報の収集と発信

実施機関	寄居町	
現状・課題等	関係者間の連携体制を構築するため、環境整備に努める	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療環境整備事業 【対象】 全住民 【方法】 関係者と情報を共有し、相互理解を深める 【手順】 研修会・会議への参加 【実績】 保健所主催の研修会・会議への参加(10回)の他、ケアマネ会議などにも参加し、情報の共有を行うことができた。	研修会・会議への参加

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	超高齢化社会に向けて、地域包括ケアシステムの構築が課題となる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療専門部会の開催 【対象】 医療・介護関係職員 【方法】 会議・研修会の開催 【手順】 年度内2回の専門部会を開催する 在宅医療・介護連携推進研修会の開催 【実績等】 専門部会委員による会議の開催 2回(平成28年10月24日、平成29年3月13日)	在宅医療・介護連携の推進

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	人工呼吸器等医療機器を使用している難病患者の療養実態の現状把握や地域の医療介護等の関係者との連携のもとに、療養環境整備をすすめていくことが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅難病患者相談支援者研修会 【対象】 在宅難病患者に対する支援を行っている関係職員 【方法】 研修及びネットワーク会議 【手順】 年2回 【実績等】 難病患者支援者研修会 11月29日 35人、2月2日 57人 医療講演会(対象:患者・家族、支援者)10月19日 15人	医療機関等の連携による相談体制の充実と療養生活支援による患者の不安の軽減

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	在宅療養者の摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供は、低栄養の防止と治療効果を高めるための重要課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 摂食や嚥下機能に対応した食支援研修会 【対象】 医療・介護保険に関わる専門職 【方法】 研修会の開催 【手順】 年1回 【実績等】 口腔保健と摂食・嚥下研修会 2月21日 62人参加	摂食や嚥下に対応した安全な食事の提供の理解

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケアシステム構築に向けて管内関係機関の看護職の連携強化が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 管内地域看護連携会議 【対象】 医療機関、地域包括支援センター、市町、保健所の看護職等 【方法】 情報交換及び現状・課題の検討、情報ツール(退院連絡票等)共有など 【手順】 会議 年2回、訪問看護連絡会 年3回 【実績等】 地域看護連携会議 ①6月15日 27機関56人 ②3月 8日 28機関51人 熊谷訪問看護連絡会 ① 6月27日 13機関49人 ②11月21日 8機関21人 ③ 2月24日 9機関19人	地域包括ケアシステム構築を目指し、地域の看護職連携と人材育成を強化

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケアシステム構築に向けて管内関係機関の多職種の連携強化が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 在宅医療・介護連携推進研修会 【対象】 医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護事業所、市町、保健所等 【方法】 研修の実施 【手順】 埼玉県立循環器・呼吸器病センターと共催実施 【実績等】 H29.1.24「在宅医療のための多職種によるチームアプローチ」 講師:看護職 参加者61名 【手順】 深谷市と共催実施 【実績等】 H29.2.15「多職種グループでの退院調整事例検討会」 参加者92名	地域包括ケアシステム構築を目指し、地域の医療・介護の連携強化

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療・介護を担う多職種の協働により、患者が住み慣れた地域で介護と連携した在宅医療を受けられる連携体制を構築すること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】在宅医療・介護連携推進専門部会の開催 【対象】 【方法】 【手順】 【実績】	在宅医療・介護を担う多職種間の連携
	熊谷保健所と共通	

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	在宅医療・介護を担う多職種の協働により、患者が住み慣れた地域で介護と連携した在宅医療を受けられる連携体制を構築するための課題・問題等を共有すること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】在宅医療推進のための研修会の実施 【対象】医師会、在宅医療連携拠点、病院地域連携室、地域包括支援センター、介護関係職員、市町等 【方法】多職種地域連携を図るため、研修会を実施する。 【手順】多職種における各関係機関相互の意見交換、課題・問題点の共有等 【実績】 ・関係機関及び市町における在宅医療介護に関する現状を把握し、課題を明らかにすることを目的として、アンケート調査を実施した。 ・明らかとなった現状や課題について、共通認識を持てるよう多職種を集めて情報提供を行うとともに、在宅医療・介護に関する住民啓発、在宅医療連携拠点等を活用した多職種連携等について意見交換を行った。	在宅医療・介護を担う多職種間の連携

事業名

精神疾患医療

目標

イベントや広報などを通じて、心の健康づくりに関する市民への普及啓発を進めます。また、行政と民間が協働して地域・職場における自殺対策を推進します。認知症対策としては、住民や医療関係者などに対する認知症の理解を促す取組を進めるとともに、地域ケア体制の充実を図ります。

主な取組

- 心の健康づくりに関する普及啓発
- 自殺対策の推進
- 認知症対策の推進

実施主体：保健所、市町、医師会、歯科医師会、精神科病院、各種職能団体、企業、地域住民

平成28年度 北部保健医療圏圏域別取組実績

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 市民健康フォーラムにおける健康相談 【対象】 一般市民 【方法】 10月2日(日)に第15回市民健康フォーラムを開催(参加者270名)し、健康相談窓口を設置し、市民に指導、啓発を行った。 【手順】	
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	認知症に対する理解を深め、精神症状や問題行動に対して、地域ケア体制の整備を進める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 在宅歯科医療研修会・歯科医師認知症対策向上研修会 【対象】 埼玉県歯科医師会会員 【方法】 研修会の開催 【手順】 地域包括ケアについて・認知症対策について研修 平成28年10月16日(日)13:00-17:30 県内約200名参加 講師: 埼玉精神神経センター 丸木雄一先生	研修会参加者の増加
実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	認知症に対する理解度を深め、広く市民に啓蒙する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 認知症簡易チェックサイト 【対象】 大里郡市歯科医師会会員 【方法】 深谷市長寿福祉課と協同し、認知症簡易チェックサイトを会員診療所に掲示した。	
実施機関	児玉郡市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 スキルアップ研修会 【対象】 本郡市歯科医師会会員 【方法】 研修会への参加などにより理解を深める。 【手順】 【実績】	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民の精神保健の向上及び精神障がい者の支援のために、相談事業を推進します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 精神保健相談 【対象】 市民 【方法】 市民からの相談に対し、保健師が電話・面接・訪問で対応する。 【手順】 市民からの電話連絡等により応じる。 【実績等】 1,935人	延べ相談者数 1,950人
度	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 心の健康に問題の生じた本人や家族、関係者(通院中の方を除く) 【方法】 臨床心理士による個別相談 【手順】 予約制 【実績等】 20回 37人	相談者数 48人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自殺予防対策の一環として、こころの体温計の利用を啓発していきます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 こころの体温計 【対象】 市民 【方法】 市民が携帯電話やパソコンを利用してストレス度などをチェックし、うつ病等のメンタル面の問題に対し、気軽に相談できる窓口の案内につなげられる。 【手順】 【実績等】 25,005件	アクセス件数 35,000件
度		

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自殺予防に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 精神保健の健康教育 【対象】 市民、民生委員・児童委員等 【方法】 市民からの依頼や民生委員・児童委員協議会の場を利用して、保健師 【手順】 による講話を実施 【実績等】 15回 436人	参加者数 550人
度		

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	精神障がい者に対し、健康面・栄養面等での指導を行い、社会復帰支援を行います。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 社会復帰支援 【対象】 社会復帰施設を利用している精神障がい者 【方法】 施設に保健師・栄養士が出向き、健康教育を行う。 【手順】 施設からの申し込みにより実施。 【実績等】 15回 220人	参加者数 225人
度		

実施機関	キャラバン・メイト、熊谷市	
現状・課題等	認知症サポーター養成講座を67回開催し、2,673人受講しました。(認知症サポーター総数13,427人)うち、小中学校は16校開催。(平成27年度現在)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】認知症サポーター養成講座</p> <p>【対象】市内在住、在勤の方</p> <p>【方法】キャラバン・メイトから講師を派遣し、認知症サポーター養成講座を開催する事により、参加者に認知症に対する正しい理解の普及・促進を図る。</p> <p>【実績等】認知症サポーター養成講座を64回開催、2,629人受講。(認知症サポーター総数16,056人)うち、小中学校15校開催。認知症サポーターステップアップ講座を1回開催、45人受講。</p>	市内の全小中学校を対象に認知症養成講座を開催する(平成29年度末までに)。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市内の事業所、各庁舎内に介護マークを設置。また、市民への貸し出しを行っています。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】サポーター・タグ普及事業</p> <p>【対象】市内の事業所及び市民</p> <p>【方法】当事業の趣旨に賛同し、認知症サポーター養成講座を受講された事業所に対し、介護マーク(サポーター・タグ)を設置する。また、認知症高齢者等を介護している方に介護マークを貸し出し、周囲に介護中であることをさりげなく知ってもらうことで、介護者の心理的負担の軽減を図る。</p> <p>【実績等】51事業所に介護マークを設置。市民への貸し出し5件。市報・ホームページで周知を行った。</p>	より多くの事業所に設置してもらい、認知症の方や介護する方が外出しやすい環境を作る

実施機関	地域包括支援センター、熊谷市	
現状・課題等	熊谷市役所内で毎月第4木曜日に認知症相談窓口を設置	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】認知症介護相談</p> <p>【対象】市民</p> <p>【方法】市役所内に認知症に関する相談窓口を設置し、地域包括支援センターの職員が相談員として対応する。HPや市報を通してPRしていく。</p> <p>【実績等】相談件数4件。</p>	認知症に対する相談窓口の普及を図る

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	認知症の早期発見のため、認知症簡易チェックサイトの利用を啓発します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】認知症初期スクリーニングシステム</p> <p>【対象】市民</p> <p>【方法】携帯やパソコンからアクセスし、認知症の状態をチェックし、相談先の案内を掲載している。</p> <p>【実績等】アクセス数9,264件。</p>	アクセス数15,000件

実施機関	本庄市	
現状・課題等	社会環境の変化や価値観の多様化に伴い、「うつ」への対応をはじめとする、心の健康づくりを推進していくことが求められている。また、本市における自殺者数は、年度によるバラつきがあるものの、大切な命が失われており、悩みを持つ人に早い段階で気づき、適切な支援に繋げることを目的にゲートキーパー養成に取り組んでいる。しかし、直接相談につながる事例は少なく、周知・啓発の見直しを進めるとともに、今年度は市民向け講座も実施する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 自殺対策緊急強化事業 【対象】 市民・小学5年生・市職員 【方法】 市職員を対象とした自殺対策、予防に関するゲートキーパー養成研修を行った。市民向けに、自殺の一因となりえるメンタルヘルス悪化の予防を図るため、また、小学校5年生とその保護者を対象に、こころと命の大切さを理解するためのコミュニケーション講座を開催した。 【手順】 広報等での周知をはかるとともにHPの見直しを行う。専門講師を招いてゲートキーパー養成講座及び心の健康づくり講座を実施する。 【実績】 ゲートキーパー養成講座 参加者 16人 コミュニケーション講座 参加者 728人	ゲートキーパーの増員や市民への啓発により、悩みを抱える人に対する「気配り・気づき・声かけ・傾聴・つなぐ・見守る」を実践し、自殺抑制につなげる。

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	高齢化に伴い認知症のかたが増加しているが、地域の中では認知症の理解が広がっていない。地域全体で認知症の理解を深め、認知症のかたや家族を支えていく取組みが必要になっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 団体名：深谷市 【方法】 講義形式(60分～90分の講座) 【手順】 深谷市まごころ出張講座のメニューに登録し、幅広い市民のかたを対象に認知症サポーター養成講座を実施する。 【実績】 平成28年度認知症サポーター養成講座 1,122人	認知症サポーター養成講座受講者数

実施機関	深谷市(長寿福祉課)	
現状・課題等	認知症の人とその家族や地域住民、専門職がつながり、集うことで、認知症の人への理解の啓発、家族の介護負担の軽減を図り、かつ地域で認知症の人を支える一助とする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 認知症カフェ 【対象】 認知症のかたやその家族、認知症に関心のあるかたや以前に介護経験のあるかた 【方法】 体操(体、口腔)、歌、ミニ講座、話し合い、介護相談、リラクゼーションケアなど 【手順】 参加希望の認知症カフェに直接来所 【実績】 市内4か所で実施	市内の認知症カフェ実施箇所数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	精神的不安、対人関係、性格、お酒、閉じこもり、その他家族・職場等での悩み、医療などについての相談を受け、精神疾患や精神的不健康の状態に適切に対応できるよう支援する。利用実人数は年間10～20人程度で本人からの相談より対応に困っている家族からの相談が多い。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 こころの健康相談 【対象】 こころの健康に問題が生じたかたやその家族 【方法】 精神科医師、保健師による相談(要予約制) 【手順】 【実績等】 年9回 相談来所者数 11人	必要としている人が、相談に結びつくよう事業の周知を図る。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自殺は多くが追い込まれた末の死であり社会的な問題であると捉え、様々な分野でのゲートキーパーの養成を図ること、また自殺予防について啓発をすることが必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】自殺予防パネル展示(ゲートキーパー養成講座は未実施)</p> <p>【対象】市民等</p> <p>【方法】自殺予防パネル展示、相談窓口を掲載したリーフレット配付 <実施場所> 保健センターホール、睡眠市民公開講座会場(文化会館小ホール)</p> <p>【実績等】展示年2回(9月、3月)※9月睡眠市民公開講座会場では、「こころの健康コーナー」を設置。市精神障害者と家族を守る会「ハートフルフレンズ」の協力あり。</p>	ゲートキーパー養成人数 パネル展示開催数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	ストレス社会と言われる現在、心の病にかかる人が増加しており、心の健康づくりや対応についての正しい知識の普及・啓発が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」、こころの健康(自殺予防)講演会</p> <p>【対象】市民</p> <p>【方法】<こころの体温計>モバイル版セルフチェックシステム。 <講演会>講師を招いての講演会:テーマ:睡眠</p> <p>【実績】・「こころの体温計」の周知:母子手帳交付、新生児訪問をはじめ随時、チラシを配布。アクセス数:10,324件 ・「睡眠市民公開講座」1回 267人</p>	・「こころの体温計」の周知 ・講演会の開催数と参加者数

実施機関	深谷市(保健センター ※熊谷保健所、熊谷市、寄居町共催)	
現状・課題等	精神疾患を抱える家族を対象とした家族教室や地域住民に対する精神疾患の講座及び講演会を実施し、当事者や家族が安心した暮らしができるよう支援することを目的とし実施している。(平成28年度から実施)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】精神保健福祉講座</p> <p>【対象】熊谷保健所管内の住民</p> <p>【方法】医師による講話等</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】「アルコール依存症について」参加者21人 「統合失調症について」参加者100人</p>	参加者数

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	複数の職種が入ることで、色々な視点でケースを見ることができる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ケース検討会議 【対象】 【方法】 保健所、障害者生活支援センター職員、町障害者担当、町保健センター、町社会福祉協議会臨床心理士で年6回、各担当ケースについて 【手順】 【実績】 実施回数:6回	情報の共有 担当職員の負担の軽減

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 健康まつり 心の健康づくりコーナー 【対象】 来場者 【方法】 メンタルチェックカードの配布 相談窓口の掲示 【手順】 【実績】 メンタルチェックカード配布数:50枚	心の悩みを持つ人たちへの相談窓口の周知を図る

実施機関	美里町社会福祉協議会	
現状・課題等	町の相談窓口として、より気軽に利用していただき、問題の早期介入・予防に努めたい。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 臨床心理士による「心の相談窓口」 【対象】 町民 【方法】 広報・パンフレット 【手順】 原則、週2日の相談窓口と必要に応じて要援護者宅への家庭訪問 【実績】 相談者延べ人数:157人(実人数:20人)	不安を抱える人々の心の健康維持

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症サポーターの地域活動等への参加が課題。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 認知症サポーター養成講座 【対象】 町民・団体・企業など 【方法】 広報・パンフレット等で募集。認知症の正しい理解と、認知症の人とその家族を温かく見守る人材の養成。 【手順】 キャラバンメイトによる認知症に関する基本的な学習講座 【実績】 サポーター養成講座の開催:5回、受講者数:123人	サポーター年間100人の養成と認知症についての理解を更に深める事業の開催

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	本来めざす自立支援型のケース検討会議までに至っていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 地域包括ケア会議(地域ケア会議) 【対象】 介護サービス事業所職員、民生委員、町保健センター保健師、町担当職員、社会福祉協議会職員で個別ケースの課題解決方法などを検討する。 【方法】 2ヶ月に1回開催 【手順】 町内居宅支援事業所のケアマネより事例提供してもらい、初回及び評価時の支援状況について検討する。 【実績】 開催回数:6回、参加者数:延べ90人 検討事例数:(当初)10件、(評価)4件	個別ケースの検討を通じた自立支援に向けた課題解決とともに地域課題・ニーズを把握する

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	各行政区で実施している高齢者いきいきサロン。新規参加者が増えない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 高齢者いきいき対策事業</p> <p>【対象】 おおむね65歳以上の人</p> <p>【方法】 各行政区長及び老人クラブ等が主体の地域高齢者交流の場。地域包括支援センター職員による介護予防体操や脳活性トレーニング、また保健センター保健師の健康相談・血圧測定も併せて実施している。</p> <p>【手順】 各行政区ごとに年間開催予定表を配布し周知を図る。介護予防の話や脳活性トレーニング等を楽しみながら行う。</p> <p>【実績】 町内27か所で実施、実施回数：216回、参加者数：延べ 2,732人</p>	新規参加者の促進と有効な介護予防活動の継続実施

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の人を介護する家族の交流の場がなかった。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 認知症高齢者等介護家族のつどい</p> <p>【対象】 在宅で認知症高齢者の方を介護されている家族</p> <p>【方法】 認知症の方を身近で支える介護者相互の交流の場づくりを支援。介護家族の悩みなどを話すことで身体的・精神的負担の軽減を図る。</p> <p>【手順】 広報・チラシ等で事業実施の周知を行う。アドバイザーを招き、日頃の悩みに助言を頂く。参加者同士の意見交換や交流の場・息抜きの場としてもらう。</p> <p>【実績】 実施回数：1回、参加数：5家族 28年度は、家族のほかに初めて担当CMの参加があった。</p>	介護家族の方の精神的負担の軽減と在宅認知症の人の居場所づくり

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の人を介護する家族の交流及び学びの場がなかった。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 介護予防講演&実践会(認知症予防)</p> <p>【対象】 町民、認知症サポーター等</p> <p>【方法】 認知症高齢者の現状と今後について、また早期発見・診断の重要性を学ぶ。認知症予防のプログラム例を実際に体験する。</p> <p>【手順】 広報、パンフレット等で周知し募集する。講演や予防プログラムの実践を通じて得た学びを生かしてもらう。</p> <p>【実績】 実施回数：1回、参加者数：50人</p>	参加者数50人

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	認知症の早期発見を目的としているが、すでに認知症を発症している方や症状の進行が認められる方の相談が多く、本来目的の認知症初期の段階での相談が少ない。現在、認知症初期集中チームが未設置のため、半ば、その役割も担っている状況。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 脳の元気度チェック&相談会</p> <p>【対象】 町内在住の認知症の心配がある方または家族</p> <p>【方法】 毎週火曜日(祝日は除く)、午前9時30分～午前11時30分。個別相談(予約制)。アセスメントを行い、点数等で認知症の可能性を評価していく。また、必要に応じて訪問により状況把握を行う。相談内容に応じた生活支援の助言を行う。認知症の早期発見と家族への支援を目的とする。</p> <p>【手順】 広報及びくらしのカレンダーやチラシにて周知。予約制で個別に相談を受ける。生活上の助言を行うとともに、必要に応じて専門医療機関の紹介や制度の利用につなげる。状況により、3～6ヵ月後に再アセスメントを行い経過を観察しながら支援に生かす。</p> <p>【実績】 相談数：15件</p>	認知症の早期発見及び相談の場として町民にさらに周知し、気軽に利用できるよう促していく

実施機関	美里町地域包括支援センター	
現状・課題等	現在、認知症初期集中支援チームは設置されていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】認知症初期集中支援事業</p> <p>【対象】町内在住の診断を受けていない認知症の心配がある(原則として40歳以上)等の条件に該当する方または家族 ※地域支援事業の対象に同じ</p> <p>【方法】現在、未整備のため、認知症初期集中支援チームをできる限り早期に設置する。初期集中支援チームの個別訪問を行い、診断を踏まえた観察・評価により認知症初期の本人・家族の支援を集中的に行う。</p> <p>【手順】チームの整備と検討委員会を設置し、手順を検討する。</p> <p>【実績】住民周知のため、チラシ(認知症地域支援推進員をご存知ですか)を作成。 チームの可動: 0回</p>	認知症の早期発見ツールとして町民に周知徹底し、理解(及び利用)を促していく

実施機関	神川町	
現状・課題等	介護認定を受ける高齢者のうち認知症疾患を持つ方が、40%を占め、要介護度も軽度の方が多い。そのような状況において、認知症に関する相談も多く、徘徊による行方不明になるケースも見られ、正しい知識の普及が重要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】認知症サポーター養成講座</p> <p>【対象】小学生～中学生・一般成人</p> <p>【方法】キャラバンメイトによる講習</p> <p>【手順】①小学生～中学生 ・包括支援センターが各学校の授業にてサポーター養成講座を開催。 ②一般成人(高校生以上) ・広報紙等で呼びかけサポーター養成講座を開催。 ③昨年度養成講座受講者へのステップアップ講座開催 ④啓発用DVDを作成し、公共機関や薬局等の待合で放映</p> <p>【実績】①・参加人数 223人 ②・参加人数 105人(福祉専門学校生 50人含) ③・参加人数 19人</p>	認知症患者の正しい知識の習得者の増員、および地域支援者の拡大

実施機関	神川町	
現状・課題等	精神障害者とともに暮らす家族の負担は長期にわたり、将来に対する不安など、家族同士が共有する問題も多くあると思われ家族を支援する体制が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】家族会</p> <p>【対象】精神疾患の家族</p> <p>【方法】家族が集まり情報交換及び勉強会</p> <p>【手順】2ヶ月に1回実施。福祉課窓口で対象者へチラシを配布し、参加者を募る。</p> <p>【実績】年6回実施。延べ22人参加。登録実人数:8人</p>	参加者を増やす

実施機関	上里町	
現状・課題等	自殺に関する正しい知識を普及し、その知識を基に家族だけではなく地域の身近な人も見守れる人材を増やす必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】埼玉県自殺対策緊急強化交付金事業(ゲートキーパー養成講座)</p> <p>【対象】町内で活動されている保護司、更生保護女性会等</p> <p>【方法】ゲートキーパー養成講座</p> <p>【手順】自殺対策について、講義形式で学ぶ講座とする。講座で学んだ知識を、地域で活動する中で活用してもらう。</p> <p>【実績】参加人数 39名</p>	地域で活動している方々が、自殺に関する相談の初期対応を学び、理解する機会を設けることで、身近な人を見守れる人材を増やす。 (講座参加人数)

実施機関	上里町	
現状・課題等	自分の心の状態を知る簡易チェックシステムとして、こころの体温計をホームページに掲載。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】こころの体温計 【対象】町民及び町民以外 【方法】上里町のホームページに簡易メンタルヘルスチェックシステムを掲載することにより、自身のストレス度合等を確認する機会をつくる。 周知方法: 広報やチラシ等 【実績】1か月の平均利用実績 803件	上里町のホームページを見た人が自身の心の状態を知り、悩みや問題に気づくことで心の病気の予防につなげる。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	精神科医療機関が町内に1か所しかない。身近な相談機関が少ない。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】心の健康づくりに関する普及啓発事業 【対象】全住民 【方法】広報への掲載・心の健康相談の実施 【実績】広報への掲載と、毎月の健康相談を実施できた。その他にも、随時面接・電話相談などを行った。	広報への掲載と健康相談の実施

実施機関	寄居町	
現状・課題等	精神科医療機関が町内に1か所しかない。身近な相談機関が少ない。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】自殺対策事業 【対象】全住民 【方法】自殺対策に関するパネルの展示や、パンフレットの配布 【実績】自殺対策予防推進月間には本庁舎に懸垂幕を掲示し普及啓発を行った。健康まつりには、パネルの展示とパンフレットの配布を行った。	自殺対策に関する情報を発信し、啓発に努める

実施機関	寄居町	
現状・課題等	認知症予防への取り組みが必要	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】認知症対策事業 【対象】全住民 【方法】健康づくり事業の実施 【実績】介護予防事業として、認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターが開催し、175名のサポーターを養成できた。	認知症予防に関する教室の実施

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	心の病気に対する誤解や偏見は根深くあるため、心の健康について広く普及啓発する必要がある。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】精神保健福祉講座 【対象】一般県民、関係者、当事者、家族等 【方法】講座の開催 【手順】管内市町と共催 市報・行政HP・チラシ等で周知 3回開催(統合失調症・うつ病・アルコール依存症) 【実績等】H28.11.25 アルコール依存症について 参加者 30人 H29.1.19 統合失調症について 参加者100人 H29.3.4 うつ病について 参加者105人	一般県民等の心の病気に対する誤解や偏見の解消。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	自殺対策は長期的に取り組む必要があるが、相談対応職員の異動等で知識や経験が積み重なっていない。対人保健サービスを提供する職員の相談技術のスキルアップは毎年必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 精神保健福祉基礎研修(北部版) / 保健福祉相談研修 【対象】 市町等の相談対応職員 【方法】 研修の実施 【手順】 基礎講座: 県立精神保健福祉センター・本庄保健所・秩父保健所と共催 通知・チラシ等で周知 【実績等】 H28.10.25 精神保健福祉基礎研修 参加者75人 「統合失調症～高齢化する患者の理解と支援～」 H29.1.30 保健福祉相談研修 参加者21人 「相談の受け方～見立て・方針・援助の考え方～」	管内の相談対応職員の相談対応スキルの向上

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	老年期の精神疾患は、認知症と他の疾患の区別がつきにくく適切な医療機関受診が遅れがちである。居宅介護支援事業所、訪問看護、地域包括支援センター等の在宅療養支援者のアセスメント力、対応スキルの向上を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 精神保健在宅療養支援者研修 【対象】 管内の在宅療養支援者(居宅介護支援事業所、訪問看護、地域包括支援センター等の職員) 【方法】 研修の実施 【手順】 通知・チラシ等で周知 3回実施(熊谷市・深谷市・寄居町) 【実績等】 H28.12.2 寄居会場 「アセスメント力・対応力を身につける」 参加者41人 H28.12.16 深谷会場 「アセスメント力・対応力を身につける」 参加者71人 H29.1.13 熊谷会場 「アセスメント力・対応力を身につける」 参加者75人	在宅療養支援者のアセスメント力、対応スキルの向上

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	不登校の者が学校を卒業したのち地域社会でひきこもりへと移行することが考えられる。そこで本人のライフサイクルに合わせ重層的に支援をしていく必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ひきこもり対策事業 【対象】 不登校・ひきこもりにかかわる関係機関等 【方法】 啓発普及や知識伝達の研修会 【手順】 関係機関等に周知し研修会を実施 【計画】 講演: H28.8.26「医学的対応が可能なひきこもり等の見立て」 講師: 県立精神医療センター 長嶋庸至医師 【実績】 ①H28.8.26参加者27名②H29.2.16参加者16名(2回実施)	ひきこもる状態やひきこもる者の理解とその支援について正しい知識と新しい情報の提供をする。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	主に統合失調症で治療を継続している者の家族が集い、友愛の心で共感し、お互いに学びあう関係の中でその個人と家族会が成長し、支えあえる自助の関係構築ができるよう支援する	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 家族による家族の学習会(ピア事業)と家族同士の交流会 【対象】 おもに統合失調症を治療している者のいる家族 【方法】 同じ境遇の者同士で行う学習会と集う話し合いのできる場の設定 【手順】 定例の家族同士の交流会の設定と同じ境遇同士で学びあう学習会の実施 【計画】 研修会: 7月～11月まで毎月1回「家族による可読の家族学習会」 講師: 研修のために事前学習を終えた家族 会場: アスパア児玉 【実績】 1クール5回ピア講師を含め45名参加	家族会の者が5回の講座に責任を持ち実施でき自信を深め聴講の家族の勇気につながり家族会員が増加する。

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	うつ病などの疾病によりに生活不安になるものや疾病がなくとも日常に生きにくさを感じている者などの気持ちを和らげる知識の普及や新しい気付きを感じる学習会を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 精神保健福祉に関する学習会 【対象】 一般住民を中心に管内在職者など 【方法】 研修会 【手順】 本庄市と共催し、広く周知し実施 【計画】 講演: H28.10.1「認知行動療法による気づき体験や生活改善」の講義 講師: 埼玉医科大学 庄野伸幸准教授 会場: 早稲田リサーチパーク 【実績】 H28.10.1一般市(町)民70名	疾病に特化せず地域メンタルヘルスの向上とし住民及び関係者の多数の聴講を目指す。

事業名 健康増進・生活習慣病予防対策

目 標 地域住民、関係団体、行政機関が連携し、市町健康増進(食育推進も含む)計画の策定や見直しを実施し、健康づくりを進める体制を整備します。生活習慣病の予防や重症化予防に関する情報や、各種検診の内容に関する情報を積極的に提供しながら、未受診者への健診受診等を推進します。また、定期的な歯科健診の受診を勧奨するなど歯科口腔保健を推進します。

主な取組 ■各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備
 ■生活習慣病に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨
 ■歯科口腔保健の推進
 実施主体:市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、地域住民、保健所

平成28年度

平成28年度 北部保健医療圏圏域別取組実績

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 特定健診及び各種検診の実施、市民健康フォーラムの開催 【対象】 一般市民 【方法】 特定健診及び各種検診について、会員の医療機関に情報提供を行い、医療機関での円滑な実施に努めた。また、10月2日(日)に市民健康フォーラムを開催し、市民への啓発活動を行った。 【手順】	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	平成27年度に期間限定で医療機関における個別健診を実施し受診率が向上した。今年度も同様に実施する予定です。また、平成29年度に開設する健診センターでの特定健診受診方法等を検討することにより更なる受診率向上が望めると考える。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 特定健診の受診率向上 【対象】 行政、医師会 【方法】 健診センター設立後の特定健診実施方法の検討会を開催する。 【手順】 【実績】 行政と健診センター設立後の健診方法及びスケジュールについて検討会を開催した。また、スケジュールは、受診率向上に向けて実施期間の通年化と一日当たりの受診者数の制限を設け利便性の向上を目標とした。また、医療機関での個別健診の問題点を検討した。	平成29年度以降の各種住民健診の実施方法検討。特定健診の医療機関における実施方法の検討

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷寄居医師会広報誌 【対象】 会員医療機関受診者・来所者 【方法】 「イキイキふかや・よりの」の配置 【手順】 会員診療所窓口等に設置 【実績等】 「イキイキふかや・よりの」8号(4月1日)・9号(10月1日)を各10,000部発行した。歯科医師会・薬剤師会へ依頼し、歯科診療所・調剤薬局にも設置した。	年2回発行 地域住民向け医療情報広報

実施機関	深谷寄居医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 特定健康診断 【対象】 被保険者、被扶養者等 【方法】 特定健診で指導対象者に特定保健指導を行う。 【手順】 通年 【実績等】 特定健診を13,068名実施した。内、保健指導対象者、動機づけ103名、積極的64名を実施した。	随時、特定健康診断を行う

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 第40回「歯の相談室」、8020よい歯のコンクール 【対象】 熊谷市及び近隣市町村の住民 【方法】 イベントを開催 【手順】 【実績】 平成28年6月5日実施 435名参加	イベントを通じて、口腔の健康の意義を啓発する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	実際の受診率は約1%に留まっている。周知の徹底と受診手続きの簡素化が求められる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 市内に住所を有し、対象年齢に達する方 【方法】 歯科医療機関での健診 【手順】 熊谷保健センターに申込み、実施歯科医療機関に予約後、受診。 【実績】 各歯科医療機関で実施	定期的な健診を継続していくことで、口腔の健康を維持していく。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 熊谷保健所管内歯科保健推進会議、地域保健医療協議会、北部保健医療圏地域保健医療協議会、介護認定審査会等 【対象】 } 【方法】 } 会議 【手順】 } 【実績】 6月15日 埼玉県地域医療構想(案)に関する説明会、 10月14日 埼玉県北部保健医療圏地域保健医療協議会、 2月6日 埼玉県北部保健医療圏地域保健医療・地域保健医療構想協議会へ会員を派遣 介護認定審査会に、各合議体に1名ずつ、半年任期で9名、年間18名の審査委員を派遣	行政機関、関係団体との会議に出席し、意見交換を行い、情報の共有化を図る。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	口腔周囲筋の低下により、正しい呼吸、正しい歯並び、正しい嚥下ができない問題が起きている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 乳幼児期から始めようお口の中から健康づくり(歯と口の健康週間事業) 【対象】 乳幼児を含む親子 【方法】 ハニボンプラザにて講演会 【手順】 本庄市、本庄市南ローターリークラブとの協力により、広告を作成、本庄市内の幼稚園、保育園に周知して頂く。母乳で育てることの重要性を説明し、NUKのおしゃぶりをを使って口腔周囲筋のトレーニングを実践。また、う蝕予防のフッ化物についての有効性、安全性について説明。 【実績】 約50名の親子が来場され、母乳で育てることの大切さや、鼻呼吸の重要性を理解してもらい、また虫歯予防のフッ化物についても周知して頂けた。	乳幼児期において、口腔周囲筋を鍛えることにより、正しい呼吸、嚥下、歯並びを収穫ができることの重要性について周知して頂く。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	成人の80%以上が歯周疾患に罹患しており、その疾患の重篤さがまだ理解されていない。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】歯周疾患検診(改良されました)</p> <p>【対象】本庄市児玉郡の住民で節目年齢の方(各市町で年齢が設定されている)</p> <p>【方法】各市町での広報等で、周知して頂き歯科医師会で、指定されている歯科医院での個別歯科検診</p> <p>【手順】各市町保健センターから郵送されている歯科検診票に沿って、検診を行う。また結果についてもその場で、お渡しする。</p> <p>【実績】検査項目も大きく改正され、少しずつではあるが、周知され歯科健診の重要性、歯と全身の健康について関心を持って頂けている。</p>	毎年行われている、検診ではあるが、受診率がまだ低い。今年より、検診項目も改正されたので、受診率のUPを目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	H28年度から始まった、上里町での新しい歯科健診	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】上里町妊婦歯科健診</p> <p>【対象】上里町に住み票がある妊婦</p> <p>【方法】本庄児玉郡歯科医師会で指定されている、歯科医院での個別歯科検診</p> <p>【手順】すでに上里町から、対象者に対して、配布されている、問診票及び健診票を窓口で提出。それに従い健診をし、結果については、母子手帳に記入し返却。</p> <p>【実績】妊婦さん限定の健診であり、この時期のお母さん方は、とても健康について意識が高いため、かなり有用性が高い健診であると把握出来た。</p>	今年度より新しく上里町で始まった妊婦歯科健診の周知と受診のすすめ。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	後期高齢者の健康増進	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】埼玉県後期高齢者医療健康長寿歯科健診</p> <p>【対象】前年度75歳になった方で埼玉県より無料の歯科健診票が郵送された方</p> <p>【方法】歯科医師会員の各歯科医院における、個別歯科健診</p> <p>【手順】指定用紙の健診票通り</p> <p>【実績】県単位での大きな健診で、周知され受診者も多くなってきた。</p>	H28年7月1日より埼玉県内において昨年75歳になった方を対象とする新しい健診。まずは、周知して頂くことを目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	年々、来場者数が増加しており、歯科医師会活動を周知してもらっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】上里ふれあいまつり、8020表彰(上里町住民)</p> <p>【対象】地域住民</p> <p>【方法】オーラルヘルスプロモーション(上里町、本庄市児玉郡歯科医師会、歯科衛生士会、葵メディカルアカデミー、歯科関係業者)</p> <p>【手順】う蝕活動性試験、歯周病説明、咀嚼能率テスト、歯磨き講習フッ化物洗口</p> <p>【実績】今回は、歯科医師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、歯科大手企業、歯科衛生士学校の協力もあり過去最大規模でおこなった。国会議員、県議会議員、町長も訪れるイベントとなり住民の皆様の歯の健康について関心を持って頂けた。</p>	今年度で6回目を迎える毎年参加者数が増え、昨年は、過去最多400名以上となった。今年も、昨年以上の来場者を目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	毎年の恒例の行事となっている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】美里町8020より歯のコンクール表彰式</p> <p>【対象】80歳以上で20本以上の歯が存在している方(美里町住民)</p> <p>【方法】歯科健診(各歯科医院の患者様も含む)</p> <p>【手順】各市町及び歯科医院で80歳以上でかつ歯が20本以上あると思われる方に検診をして頂き、その結果をふまえ、コンクール表彰式を行う。</p> <p>【実績】8020表彰される方々が、年々多くなっており、健康なお年寄りが増えてきていることも把握出来た。8020運動をもっと広めていきたい。</p>	昨年よりも多くの8020達成者を目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	毎年の恒例の行事となっている	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】神川町コスモスまつり、8020運動より歯のコンクール</p> <p>【対象】一般住民及び80歳で20本以上の歯が存在している方(神川町住民)</p> <p>【方法】オーラルヘルスプロモーション、8020表彰</p> <p>【手順】各市町及び歯科医院で80歳以上でかつ歯が20本以上あると思われる方に検診をして頂き、その結果をふまえ、コンクール表彰式を行う。また、今年度は、神川コスモスまつりにも歯科医師会のブースを設け、イベントを行う予定。</p> <p>【実績】今回より、歯科医師会が初参加し、生活支援プログラムや咀嚼能率テストCR充填コーナーを設け関心をもって頂きました。また、8020表彰式も同時に行い、健康で元気なお年寄りの存在を十分にわかって頂きました。</p>	今年度は、8020表彰に加え、歯科医師会コーナーを設け、住民の方々との触れ合いを目指す。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	今年度より、児玉町での8020表彰を行うこととなった。(本庄市内と児玉町の毎年交互)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】本庄市8020表彰、講演会</p> <p>【対象】本庄市(在住)、80歳以上で20本以上の歯が存在している方</p> <p>【方法】歯科健診(8020専用健診票)</p> <p>【手順】今年度から、毎年交互に本庄、児玉で会場をもうけ、実施する。8020表彰とともに講演会も予定している。</p> <p>【実績】児玉文化会館にて「8020よい歯のコンクール表彰式」及び「口から始まる健康づくり」の講演会をおこない、約100名の来場者がありました。吉田市長も出席され、対象者28名中17名の方が、表彰されました。</p>	今年度から、児玉での8020表彰、講演会が実施される。

実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会	
現状・課題等	美里町でのフッ化物洗口が行われるようになれば、本庄市児玉郡の全域にわたって、フッ化物洗口が行われることとなる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】本庄市、上里町、神川町、フッ化物洗口</p> <p>【対象】上記の小、中学校の児童及び生徒</p> <p>【方法】週一回法、フッ化物洗口法</p> <p>【手順】予め、決められた用途、用法(管理も含む)にて実施。</p> <p>【実績】年を重ねるごとに、虫歯予防の成果が結果として表れてきました。</p>	DMF歯数が年を重ねるごとに良い結果が出るように続けて予防していきたい。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受信者の減少に歯止めを掛け、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	<p>【事業名】むし歯・歯周病予防イベント</p> <p>【対象】就学前小児と保護者・成人</p> <p>【方法】歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発</p> <p>【実績】平成28年5月22日(日)8:00-12:30 成人歯科健診、小児歯科健診 ブラッシング指導、フッ化物塗布 成人90名 小児48名参加</p>	イベント参加者の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	埼玉県歯科口腔保健計画を踏まえ、小児う蝕予防の推進 フッ化物洗口の普及・拡大	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 小児う蝕予防対策事業 【対象】 幼稚園・保育所・小中学校 【方法】 集団によるフッ化洗口の効用を広く説明、実施 【実績】 平成28年度は深谷市内3校にて説明を実施、うち、1校でフッ化物洗口がはじまった。	実施校の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域住民の健康長寿を達成するため、日本歯科医師会の推進する「8020運動」を普及	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 8020よい歯のコンクール 【対象】 80歳以上で20本以上残存歯のあるお年寄り 【方法】 歯科医師会会員の診療所、または保健センターからの推薦を受け当該患者さんの表彰を行う。 【実績】 平成28年7月14日(木)9:30-11:00 表彰式 15名の表彰 うち、優良者2名を埼玉県表彰に推薦	受賞者の増加

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	地域の歯科口腔保健の推進	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 節日健診、健康長寿健診、糖尿病性腎症予防健診の実施協力 【対象】 40~70歳5歳ごとの節日、75歳当該者、糖尿病性腎症予備軍当該者 【方法】 行政、広域連合等が行なっている上記事業への協力と 【手順】 当該患者さんへの健診、歯科保健指導 会員診療所にて随時健診、指導	受診率の向上

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	定期的な歯科健診受信者の減少に歯止めを掛け、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷市福祉健康まつり 【対象】 地域住民 【方法】 歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発 【実績】 平成28年10月30日(日)8:30-17:30 深谷市福祉健康祭りにて「お口の相談コーナー」を衛生士会、技工士会と共同で出展 合計158名に対して歯や口の相談、清掃指導、顎模型進呈を行なった。	イベント参加者の増加

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	健康づくり・生活習慣病の予防に関し、積極的にその対策や生活上の注意などの情報を健康フェアや研修会等を通して伝達する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	<p>【事業名】薬と健康フェア・産業祭</p> <p>【対象】市民</p> <p>【方法】市民公開講座の開催、産業祭への出展</p> <p>【手順】講演や薬相談・各種測定コーナーを設け、健康増進・生活習慣病予防についての啓発活動を行う</p> <p>【実績等】市民公開講座「薬と健康フェア」 6/26 熊谷市立江南総合会館ピピアで開催、来場者約600名 講演:認知症の予防と治療、「生命の授業」(乳がん対策啓発) 寸劇:認知症の人への接し方 協力団体:埼玉県熊谷保健所、埼玉県栄養士会、 NPO法人くまがやピンクリボンの会 特設コーナー:お薬相談、栄養相談、認知症相談、健康測定、 食中毒予防、手洗い指導、薬物乱用防止、熱中症対策、 こども薬剤師体験、アンチドーピング</p> <p>熊谷市産業祭 11/20 熊谷スポーツ文化公園で開催 お薬相談、健康測定等のコーナーを開設、延べ約500名が来場。</p>	<p>1.生活習慣病が毎日の生活習慣に直結している事を具体的にアピールする。</p> <p>2.健康測定・健診の重要性について啓発する。</p>

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	健康増進・食育推進について学ぶ。生活習慣病について理解を深める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	<p>【事業名】健康増進・食育に関する理解</p> <p>【対象】会員</p> <p>【方法】定例の勉強会にて食育に対する知識をレベルアップする。</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】月1回の勉強会にて、生活習慣病等について学んだ。</p>	<p>勉強会に多くの会員が参加し、知識を得る。</p>

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病の予防・重症化予防について学び知識を普及させる。また、対象者には、健康診断や医療機関の受診を勧める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させる。</p> <p>【対象】 地域住民・会員</p> <p>【方法】 日常業務中、検査値などをチェックし、アドバイスをおこなう。健康まつりにおいて、健康相談にのる。</p> <p>【実績】 各会員薬局にて、患者さんにアドバイスするよう努力した。</p>	健康診断未受診者へ1人でも多く受診を勧める。

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 生活習慣病に関する講習会・勉強会を実施します</p> <p>【対象】 薬剤師会会員</p> <p>【方法】 薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催します。</p> <p>【手順】 薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。</p> <p>【実績等】 ①6月8日 糖尿病の薬物療法 ②7月20日 機能性ディスベシアについて ③11月25日 CKD患者における糖尿病治療のポイント ④12月6日 インスリン開発の歴史と服薬指導上のポイントについて 上記の勉強会を薬剤師会主催で開催。 また他機関主催の講演会に会員が参加しやすいように、講演会案内を積極的に行った</p>	

実施機関	深谷市薬剤師会	
現状・課題等	生活習慣病予防のための知識の普及啓発に取り組みます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 地域住民に生活習慣病に対する知識を普及させる為、健康まつり等に参加し、生活習慣病相談を実施します。</p> <p>【対象】 地域住民</p> <p>【方法】 健康まつりに参加し健康相談・おくすり相談の実施、生活習慣病予防のアドバイスをおこないます。</p> <p>【手順】 生活習慣(食事・運動など)の改善指導、健康食品の利用により予防のためのセルフケアをすすめます。 ・平成28年6月26日健康フェア(熊谷薬剤師会主催)に共催で参加します。 ・平成28年10月 深谷市福祉健康まつりに参加します。</p> <p>【実績等】 ①薬と健康フェア(熊谷薬剤師会主催)に共催として参加。日時:6月26日 場所:江南ピピア ②森の音楽祭INみどりの王国 に参加。薬剤師会ブースにて体組成検査を実施。必要なアドバイスを個別に行った。日時:10月16日 場所:ふかやみどりの王国 参加者:約200名 ③深谷市福祉健康まつりに参加。薬剤師会ブースにて体組成検査・血圧測定を実施。必要なアドバイスを個別に行った。日時:10月29日・30日 場所:深谷市ビッグタートル 参加者:約400名 ④梅まつりINみどりの王国 に参加。薬剤師会ブースにて体組成検査・貧血検査を実施。必要なアドバイスを個別に行った。日時:3月4日・5日 場所:ふかやみどりの王国 参加者:約300名</p>	

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	進計画策定に携われるのは、学校薬剤師がその担当の学校保健安全委員会においてのみ可能な状況ですので、まずはその機会を活用してすすめたいと存じます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備</p> <p>【対象】地域の小中学校の児童や生徒その保護者や先生など</p> <p>【方法】担当学校薬剤師を通じて、児童・生徒に正しい知識を伝達し、そのためにどのような行動すべきかについて助言を与えます。</p> <p>各市町内の学校薬剤師が担当学校の保健安全委員会にて、教師や保護者にも指導・助言を実施します。</p> <p>【実績等】各学校薬剤師が年1回必要な講演を実施しました。</p>	各学校薬剤師が年1回必要な講演を実施します。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	会員薬局に来局される患者さんはすでに医師の治療をうけているのでかなり意識は高いと思われるので、イベントに参加なされる地域の皆さんを対象に行うのが意識付けのきっかけになると考えられます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】生活習慣病に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨</p> <p>【対象】寄居町健康まつりに来場なされる地域住民</p> <p>【方法】10月23日開催予定の健康まつりにおいて、ミニ健康講座として生活習慣病予防の講演実施。また血圧測定や体脂肪測定、血流測定そして食事や生活習慣の聞き取りを行い、健康診断の結果など聞いて受診勧奨を行います。</p> <p>【実績等】健康まつりにおいてミニ健康講座の実施と健康チェックコーナーでの健康相談実施。深谷・寄居医師会の研修会に出席させていただき高血圧疾患、糖尿病、心臓疾患などについて研修し、患者さんの服薬指導に役立ちました。</p>	健康まつりにおいてミニ健康講座の実施と健康チェックコーナーでの健康相談実施

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	普段歯の痛みや歯茎の腫れ、入れ歯の不具合がないと歯科医を受診されない方が多いので、高齢になっても自分の歯で食事するためにも、健診を受けるように定期的に歯科医に診てもら	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】歯科口腔保健の推進</p> <p>【対象】会員薬局に来局される方</p> <p>【方法】ハブラシや歯磨き粉・洗口液をお買上げの方に特に歯や歯茎のトラブルがなくても、歯科医に定期的に受診することをお話します。</p> <p>また口渇、歯茎の腫れや顎骨に影響のある薬を服用されている方も多いので口腔ケアの必要性をパンフレットやポスターを利用して啓蒙します。</p> <p>【実績等】会員薬局の現場において随時行います。歯科の処方せんをお持ちになった患者さんに、ひどくなると治療に時間がかかるので予防の重要性を告知しました。</p>	会員薬局の現場において随時行います。ひどくなると治療に時間がかかるので予防の重要性を告知する。

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	健(検)診事業の円滑な実施に努め、効果的かつ効率的な各種保健サービスが利用できるように関係機関との連携を図ります。また受診率が低いため、受診率向上に向けた対策が課題となっています。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】特定健康診査等事業</p> <p>【対象】国民健康保険加入者で40歳以上の方</p> <p>【方法】個別健診、特定保健指導該当者に対して動機付け支援、積極的支援を実施。</p> <p>【手順】該当者全員に受診券を郵送し、受診勧奨を行う。</p> <p>【実績等】特定健康診査受診率29.6% 特定保健指導実施率13.1% (平成29年5月末現在)</p>	<p>・特定健康診査受診率</p> <p>55%</p> <p>・特定保健指導実施率</p> <p>50%</p>

実施機関	熊谷市(国民健康保険)	
現状・課題等	糖尿病が重症化するリスクの高い者の人工透析への移行を防止し、国民健康保険被保険者の健康維持や医療費の適正化に資することを目的とする。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】生活習慣病重症化予防対策事業</p> <p>【対象】①受診勧奨対象者(未受診者・受診中断者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又はHbA1c(NGSP)6.5%以上 ・eGFRが基準値(60ml/分/1.73m²)未満 ・尿蛋白2+以上あるいはeGFR30ml/分/1.73m²未満 <p>受診中断者については、最終受診日から6か月経過しても受診した記録のない者</p> <p>②保健指導対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者でかかりつけ医の同意があった者 <p>【方法】受診勧奨対象者へは勧奨通知を送付し、保健指導対象者へは生活習慣改善支援プログラムの参加案内を送付する。</p> <p>【手順】</p> <p>【実績等】指導実施数8名</p>	<p>指導実施数 約70人</p>

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	熊谷市第2次健康増進計画に基づき、市民の健康保持・増進に取り組む。また、熊谷市第2次健康増進計画の期間が平成28年度に終了するに当たり、熊谷市第3次健康増進計画を策定します。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】健康増進計画の推進、策定</p> <p>【対象】市民</p> <p>【方法】目標項目を設定し、目標値に向けて健康保持・増進に取り組む</p> <p>【手順】熊谷市第2次健康増進計画の目標値の実施状況を把握し、目標達成のための施策を推進する。また、熊谷市第3次健康増進計画は、策定委員会で計画案を検討し、市民からの意見公募も実施し健康づくりの指標となる計画を策定する。</p> <p>【実績等】目標値に対する項目状況 順調25、おおむね順調5、遅れている23 平成29年3月熊谷市第3次健康増進計画策定</p>	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	糖尿病予防のために必要な知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】糖尿病予防教室</p> <p>【対象】40歳から64歳までの市民で、前年度特定健診及びそれに準ずる健診結果、ヘモグロビンA1cが基準値を超えている方や糖尿病予防に関心のある方(治療中の方は除く)</p> <p>【方法】糖尿病予防の講義、運動の実技指導、生活・栄養の個別相談</p> <p>【手順】市報、特定健診及びそれに準ずる健診結果でヘモグロビンA1c6.0以上6.4以下の方に個別通知により周知する。</p> <p>【実績等】8回 延べ94人</p>	<p>参加者数 100人</p>

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	生活習慣病予防のために必要な栄養・運動に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ヘルスアップ教室 【対象】 40歳から64歳までの普段運動習慣のない市民 (主治医による運動制限のない方) 【方法】 ①ヨガストレッチコース、②美しくバランスアップコース、③筋力アップコースを実施。栄養士による講話、運動指導士による講話と実技指導 【手順】 市報、チラシにより周知する。 【実績等】 20回 延べ335人	参加者数 500人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	自らの健康を見直す機会の少ない20代、30代の女性に対し、健康づくりに関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 がんばる女性の健康セミナー 【対象】 20歳代、30歳代の女性市民(妊娠中の方を除く) 【方法】 運動指導士による実技指導、保健師による講話(乳がん自己検診法、子宮がん検診受診勧奨) 【手順】 子育て支援センター等で周知。 【実績等】 7回 81人	参加者数 160人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 個別がん検診等 【対象】 胃・大腸・肺がん検診:40歳以上、乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回)、子宮頸がん検診:20歳以上の女性(2年に1回)、前立腺がん検診:50歳以上の男性、骨そしょう症検診:40・45・50・55・60・65・70歳の女性、肝炎ウイルス検診:40歳の方 【方法】 市内86医療機関にて個別検診 【手順】 実施時期:6月～3月。周知は、市報・ホームページによる広報。前年受診者及び20・30歳の女性、40・45・50・55・60・65・70歳の方、受診券の申し込みをされた方及び前々年度乳がん・子宮頸がん受診者へ受診券を送付。 【実績等】 胃がん検診:20.6%、肺がん検診 22.3%、大腸がん検診 23.1% 子宮頸がん検診:28.2%、乳がん検診:27.4%	受診率 胃がん検診 21% 肺がん検診 22% 大腸がん検診 26% 子宮頸がん検診 30% 乳がん検診 23%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民からの相談に応じ、必要な指導や助言を行うことにより、市民の健康管理に役立ててもらいます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 集団健康教育 【対象】 市民 【方法】 公民館等で保健師、栄養士、運動指導士等により集団指導を行う。 【手順】 市報等により周知し、市民からの申込みにより実施。 【実績等】 24回 780人	参加者数 1,000人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	市民からの相談に応じ、必要な指導や助言を行うことにより、市民の健康管理に役立ててもらいます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 健康相談 【対象】 市民 【方法】 市民からの相談に対し保健師・栄養士が必要な指導・助言を行う。 【手順】 市報等で周知。 【実績等】 399人	相談者数 600人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	各医療機関との連携により、歯と口の健康診査を実施し、歯周病の早期発見・治療や歯の喪失予防のための知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯と口の健康診査 【対象】 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民 【方法】 市内の88医療機関において、個別歯科検診を実施 【手順】 市報、ホームページにより周知する。 市民からの申込みにより、受診券を送付。 【実績等】 187人	受診者数 450人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	高血圧予防に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 高血圧予防教室 【対象】 40歳から64歳までの市民(血圧の治療の方を除く)で前年度特定健診及びそれに準ずる健診結果で、血圧値が基準値を超えている者や高血圧予防に関心のある者 【方法】 保健師・栄養士による講話、運動指導士による実技指導 【手順】 市報、前年度特定健診の健診結果で血圧値が基準値を超えている方に個別通知により周知する。 【実績等】 2回 延べ21人	参加者数 50人

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	がん教育の推進とがん検診受診率の向上に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 生命(いのち)の授業推進事業 【対象】 中学生及び小・中学校PTA等 【方法】 がんについての正しい知識や命の大切さを伝える「生命(いのち)の授業」をくまがやピンクリボンの会に委託し実施する。 【手順】 【実績等】 中学生対象 全16校 1,777人+保護者 PTA等対象 9回 458人	中学生対象 16校 PTA等対象 9回

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	健康寿命の延伸・生活習慣病予防のために必要な運動・栄養に関する知識の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 毎日1万歩運動 くまぐまウォーキング 【対象】 30歳から74歳までの市民(主治医による運動制限のある方を除く) 【方法】 参加者は歩数計の貸与を受け、毎日1万歩を目標にウォーキングに6か月間取り組む。ウォーキングの仕方、バランスのよい食事のとり方の教室も実施する。参加前後に血液検査、体脂肪・体重測定、体力測定等を実施する。 市報等により周知。 【実績等】 221人 1万歩達成者の割合 31.7%	参加者数 250人 1万歩達成者の割合 50%

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	食育推進の担い手としてボランティアの養成に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 食生活推進セミナー 【対象】 食育に関心があり、セミナー終了後ボランティア活動が可能な者 【方法】 7日間の養成講座を実施(保健師・栄養士等による講話、調理実習、運動指導士による実技指導) 【手順】 【実績等】 7回 延べ117人	参加延べ人員 140人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	特定健康診査やがん検診の受診率を向上させるための取り組みの検討を行う。また、市民自ら生活習慣病予防の知識を習得し健康づくりに取り組めるよう、教室等を通して周知・啓発に努める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 特定健康診査・特定保健指導 【対象】 40歳以上の国保加入者 【方法】 国のマニュアルによる 【手順】 対象者抽出・広報及び対象者へ通知・健診実施(集団・個別)・評価 【実績】 特定健康診査: 受診者数4,570人→4,649人(H27→H28) 受診率31.8→29.1% (H27→H28) 特定保健指導: 実施者414人	健診受診率、保健指導率の向上
28年度	【事業名】 生活習慣改善教室(ステップアップ教室) 【対象】 特定健診受診者のうち保健指導が必要な方 【方法】 調理実習・運動実技・健康相談等 【手順】 計画・対象者抽出・教室参加勧奨・実施・評価 【実績】 実施回数: 36回 参加延人数: 247人	参加者数の増加。対象者に適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。
28年度	【事業名】 がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供 【対象】 対象年齢の市民等 【方法】 前年度のがん検診受診者に、受診券及び検診案内を送付。がん検診無料対象者にクーポン券及びがん検診手帳を送付。市広報・ホームページで告知。リーフレット配布。乳がん触知モデル展示による自己健診法の紹介等。 【実績】 受診率の推移(H27年度→H28年度) 胃がん 11.3→5.3% 前立腺がん11.4→11.1% 肺がん14.5→16.6% 大腸がん14.0→10.9% 子宮頸がん25.2→23.8% 乳がん20.1→20.1%	受診率の向上。および、がんの早期発見や予防についての周知・啓発を図る。
28年度	【事業名】 健康づくりに関する各種教室 【対象】 おおむね30歳以上の市民 【方法】 講話・運動実技・血圧、体重測定・体力測定・調理実習等 【手順】 計画・告知・参加者募集・実施・評価 【実績】 計94回 参加延人数2,685人	参加者数の増加。参加者が生活習慣を見直し、行動目標を設定し実践する。

実施機関	本庄市	
現状・課題等	・乳幼児期からの歯科口腔保健への取り組みの継続。 ・歯周病予防の推進を図るため個別歯周疾患検診(節目検診)を実施。受診者数を伸ばすための取り組みについて検討。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児の各時期における個別歯科保健指導 【対象】 1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児と保護者 【方法】 歯科検診(2歳児を除く)、ブラッシング指導、フッ素塗布(1歳6ヶ月健診・3歳児健診) 【手順】 広報・対象者への通知・実施・評価 【実績】 歯科検診受診者数及びう蝕保有率(H27→H28)の推移 1.6歳児 514人 2.4→1.6% 2歳児 538人 3歳児 532人 11.1→13.1%	う蝕のある児の総数および一人あたりのう蝕歯数の減少
	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70歳の市民 【方法】 個別検診 【手順】 健診通知同封物や広報、HP等での周知及びポスターの掲示・実施・集計及び評価 【実績】 検診受診者数の推移(H27年度→H28年度)422人→475人	検診受診者数の増加

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病を予防する対策の一環として、疾病の早期発見を図るため健康診断を実施しているが、受診率は伸び悩んでいる状況であるため、ポスターの掲示、チラシの配布などを実施している。 検査の結果、必要なかたに対し健康管理についての保健指導や受診につなげ、重症化防止に努めている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 各種健康診断の実施及び受診勧奨 【対象】 30歳以上の市民(前立腺がんは40歳以上、子宮頸がんは20歳以上) 【方法】 特定健康診査 【手順】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査 がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮頸・乳) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 肝炎ウイルス検査 要精検者への受診勧奨 ニュースレター(保健センターだより)、リーフレットの送付	受診率の向上
	【実績等】 特定健康診査 114回+個別等 9,685人(実施率 36.0%) 30歳代健康診査 114回実施 405人受診(受診率 9.2%) 健康増進法に基づく健康診査 114回実施 23人受診 胃がん検診 111回実施 6,863人受診(受診率 14.0%) 肺がん検診 114回実施 11,006人受診(受診率 22.4%) 大腸がん検診 114回実施 10,049人受診(受診率 20.4%) 前立腺がん検診 114回実施 4,180人受診(受診率 23.5%) 子宮頸がん検診 46回実施+個別 2,665人受診(受診率 17.1%) 乳がん検診 46回実施+個別 3,254人受診(受診率 20.3%) 肝炎ウイルス検査 114回実施 288人受診(受診率 0.6%) ※子宮頸がん、乳がんは新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の受診者数を含む	

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	成人期の歯の喪失原因である歯周病の早期発見を図り、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及をはかるため、歯周病検診を実施している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	【事業名】 歯周病検診 【対象】 節目検診(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達する方) 妊婦 【方法】 対象者に周知し、委託歯科医院で歯科検診、歯科相談及び保健指導を実施し、定期的に歯科検診を受けるきっかけづくりとする。 【手順】 【実績】 節目検診 967人、妊婦 303人	受診率の向上

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	6月4日の「むし歯予防デー」にちなみ、子どもとその保護者、成人が口腔保健の必要性を理解し、8020運動の実践をすることを目的にイベントを開催している	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 むし歯・歯周病予防イベント 【対象】 深谷市民 【方法】 *H28年度より、歯科衛生士養成学校に委託し、アリオ深谷センターコートで実施。むし歯・歯周病予防について劇、紙芝居、歯科保健の話、歯科相談、ブラッシング指導、かむ力テスト、歯の模型づくり等を実施 【実績】 歯科相談 成人 23人、子ども 11人 歯科教育 300人	イベント参加人数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市健康づくり計画に基づき、市民一人ひとりが健康で豊かな生活を送れるよう、ヘルスプロモーションの理念もと市全体で市民の健康づくりを支援し、健康なまちづくりを目指す。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 【方法】 健康づくりポイントカードをツールとし、各種健(検)診受診、協賛店の利用、登録事業への参加、自主的な健康づくりをポイント化。既定のポイント数を貯めて景品と交換。 【実績】 平成28年6月1日よりシーズン3開始。 事業参加者数3,312人、協力団体数36か所、協賛店登録数76店、ポイント達成者数1,801人	事業参加者数、協力団体数、協賛店登録数

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	健康づくりのために「運動を実践する」市民を増やすため、健康長寿埼玉モデルを活用した事業を実施する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ふかや毎日プラス1000歩運動 【対象】 20歳以上の在住、在勤、在学者 募集定員620人 【方法】 ICTを活用し、6か月間の活動量(歩数)を計測。普段より少し多く歩く市民を増やし、健康づくりへの効果および医療費への影響を検証する。 【実績】 平成28年度新規事業。参加者数620人 約6割が歩数を増加させ、体重・BMI・腹囲が有意に低い値となった。 アンケート結果より主観的な健康観、食習慣、運動習慣等で改善がみられた。 医療費については県の評価基準をもとに分析した結果、事業1年前との医療費の伸び率が、参加群では4.6%であったのに対し対象群では9.7%であった。	参加者数、健康づくりおよび医療費への影響

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	自ら健康づくりに取り組む市民を増やすため、疾病およびその予防に関する正しい知識の普及・啓発を図る必要があること、特に市では高血圧疾患が多いことから減少させるための継続した対策が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 各種健康教育・減塩教育事業 【対象】 市民 【方法】 地区医師会の医師、テーマに添った講師による講演会や健康教育の実施、減塩教育の実施 【実績】 健康ふかやミニセミナー一年3回354人、減塩プロジェクト年7回196人、各種(健康づくり+食育推進)講座 433回 13,885人	各種健康教育開催と参加者数

実施機関	深谷市食生活改善推進員協議会	
現状・課題等	年齢とともに骨粗しょう症となる方が増えることから(特に女性)、食生活を通して予防に努める。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 生涯骨太クッキング 【対象】 深谷市在住の方(在勤も可) 【方法】 市報で周知する他、口こみで募集。 【手順】 調理研修を開催し、骨粗しょう症予防に関する知識の普及啓発を図る。 【実績】 年4回 参加者 101人	食事を通して正しい知識の普及啓発

実施機関	深谷市食生活改善推進員協議会	
現状・課題等	生活習慣病の予防のための食生活支援	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 生活習慣病のための食生活支援 【対象】 深谷市在住の方(在勤も可) 【方法】 市報で周知する他、口こみで募集。 【手順】 調理研修を開催し、生活習慣病予防に関する知識の普及啓発を図る。 【実績】 年1回 参加者 34人	食事を通して正しい知識の普及啓発

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	生活習慣病の予備軍に対し、生活習慣病に移行させないために、対象者自身が健診結果を理解して体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り自分の健康に関するセルフケア(自己管理)ができるようにすることを目的として実施しているが、参加者数が少ないことが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 ハイリスク健康教育 【対象】 30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査及び深谷市国民健康保険特定健康診査において「保健指導」と判定され、高血糖や肥満により該当になったかた 【方法】 個別相談3回、血液検査1回その他、ふかや毎日プラス1000歩運動事業にも参加 【手順】 【実績】 参加者2人	参加者数及び血液データ等の改善により評価

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	骨密度測定を行うことにより、骨量減少の早期発見と早期治療を促進し、骨粗しょう症を予防していくための生活習慣の改善を図ることを目的として実施しているが、より受診が必要な壮年期の女性の受診率向上が課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 骨粗しょう症検診・相談 【対象】 20歳以上の市民 【方法】 骨密度測定(DXA法)および結果説明、保健師・管理栄養士による相談 【手順】 【実績】 検診 344人、相談151人	壮年期女性の受診率の向上

実施機関	美里町保健センター		
現状・課題等	各がん検診・特定健診の受診率は、年々向上している。 若い世代の受診率が低い。		
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)	
28 年 度	【事業名】 新たなステージに入ったがん検診総合支援事業 【対象】 子宮頸がん:前年度に20・25・30・35・40歳になった女性で過去5年度に1度も町の検診を受診していない方 乳がん:前年度に40・45・50・55・60歳になった女性で過去5年度に1度も町の検診を受診していない方 【方法】 ①広報・ホームページへの掲載による事業についてのPR ②がん検診無料クーポン券の配布による受診勧奨 ③子宮頸がん検診20歳・乳がん検診40歳の方に検診手帳の送付 【手順】 【実績】 受診率 子宮頸がん:6.7% 乳がん:7.8%	がん検診についての情報提供を行い、受診率の向上をねらう	
	【事業名】 がん予防についての情報提供 【対象】 町民 【方法】 ①がん検診時に受診者にがん予防についてのリーフレットを配布及びビデオの上映 ②乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう ③健康まつり時に、がんに関するリーフレット等を配布。乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう 【手順】 【実績】 上記の方法で実施	がんについての情報提供を行い、各がん検診の受診率の向上をねらう	
	【事業名】 がん検診等の受診勧奨 【対象】 がん検診等対象者 【方法】 ①各種がん検診・骨粗鬆症検診対象者すべての方に、受診券及び案内を個別通知する。 ②広報等による検診のPR 【手順】 【実績】 上記の方法で実施	受診率の向上	
	【事業名】 特定健診とがん検診の同時実施 【対象】 各検診対象者 【方法】 特定健診時に、肺がん・大腸がん検診・成人歯科健診を同時実施 骨粗鬆症検診時に、大腸がん検診を同時実施 【手順】 【実績】 上記の方法で実施	受診率の向上	
	【事業名】 特定健診 【対象】 40～74歳国民健康保険加入者 【方法】 集団検診 【手順】 ①対象者には個別通知及びパンフレットを送付 ②電話での受診勧奨 【実績】 集団健診:862人 個別健診:104人 受診率:44.6%	受診率55%	
	【事業名】 特定保健指導 【対象】 特定健診受診者で、動機づけ支援・積極的支援が必要とされた者 【方法】 集団指導・個別指導 【手順】 指導対象者に保健指導を実施。 【実績】 積極的支援:12.5% 動機付け支援:62.6% 特定保健指導率:49.6%	特定保健指導率55% 自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる	
	【事業名】 食生活改善事業 【対象】 食生活改善推進員連絡協議会会員 【方法】 ①調理実習時に、管理栄養士による生活習慣病・食育等の講話 ②調理実習時に、体重測定・血圧測定の実施 ③塩分計を貸し出し、自分自身の家庭の塩分濃度を測定してもらう。 【手順】 ①②調理実習 3グループ×8回=24回実施 【実績】 実施回数:23回 参加人数:延388人	生活習慣病や食育等についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発	

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	町では、脳血管疾患・糖尿病の方が増加傾向にある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	【事業名】 スッキリ！げんき教室 【対象】 特定保健指導対象者 【方法】 体力測定(実施前後)・健康運動指導士による運動教室 【手順】 10月～3月の間に12回実施 【実績】 実施回数:13回 参加人数:延99人	継続した運動習慣を身につける
	【事業名】 もっと！スッキリ教室 【対象】 特定保健指導を終了し、継続して運動を続けたい方 【方法】 健康運動指導士による運動教室 【手順】 4月～8月の間に5回実施 【実績】 実施回数:5回 参加人数:延28人	継続した運動習慣を身につける
	【事業名】 めざせ！毎日一万歩運動(健康長寿埼玉モデル) 【対象】 運動制限のない30歳以上の町民の方 【方法】 6月～1月実施 歩数計を配布し、毎日一万歩をめざしてもらう。 体力測定2回・血液検査2回・運動教室7回・栄養指導(講義)1回実施 フォローアップ運動教室2回 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理 【手順】 広報等でお知らせ 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。 【実績】 実施回数:13回 参加人数:延551人	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	【事業名】 みさと健康ときめき楽習会(健康長寿埼玉モデル) 【対象】 高血圧予防コース:最高血圧130～139mmHg・最低血圧 85～89mmHgの方 20名 糖尿病予防コース:HbA1c 5.6～6.4 の方 20名 【方法】 9月～3月実施 歩数計を配布し、毎日一万歩をめざしてもらう。 各コースとも、体力測定2回・医師講義1回・運動教室12回・栄養講座1回・調理実習3回実施・血液検査1回 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理 【手順】 特定健診の結果通知をする際に、対象者にチラシを配布 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。 【実績】 実施回数:21回 参加人数:延478人	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	【事業名】 めざせ！毎日一万歩運動2015(健康長寿埼玉モデル) 【対象】 前年度講座修了者 【方法】 運動教室15回・栄養指導(講義)1回・体力測定1回・血液検査1回 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理 【手順】 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。 【実績】 実施回数:18回 参加人数:延357人	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	【事業名】 みさと健康ときめき楽習会2015(健康長寿埼玉モデル) 【対象】 前年度講座修了者 【方法】 運動教室15回・栄養指導(講義)1回・体力測定1回・血液検査1回 タニタに委託し、血圧・体組成・歩数をデータ管理 【手順】 実施後、タニタのデータ・血液検査・体力測定結果・アンケート等で評価をする。 【実績】 実施回数:19回 参加人数:延421人	自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握し、生活習慣の改善とそれを維持していくことができる
	【事業名】 生活習慣病予防訪問指導事業 【対象】 血圧・HbA1c・eGFRの値が要医療の方 【方法】 訪問指導 【手順】 【実績】 訪問指導人数:延375人	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる

<p>【事業名】健康相談 【対象】特定健診受診者 【方法】保健師・管理栄養士による健康相談 【手順】特定健診結果にチラシを同封 【実績】実施回数:4回 延人数:21人</p>	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる
<p>【事業名】生活習慣病予防のための情報提供 【対象】全町民 【方法】広報誌に生活習慣病予防のための情報を毎月掲載 【手順】 【実績】上記の方法で実施</p>	生活習慣病についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発

実施機関	美里町保健センター	
現状・課題等	5歳児歯科健診の受診率が低い。 また、年齢が高くなるにつれて、1人当たりの虫歯の保有率が高くなっていく。 今年度より1歳6ヶ月児健診でフッ素塗布を導入し、さらなるう蝕予防の推進を図っている。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	<p>【事業名】幼児歯科健診 【対象】2歳児、2歳6ヶ月児、5歳児とその保護者 【方法】①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 【手順】2歳児・2歳6ヶ月児(同日実施):年4回、5歳児:年3回実施 【実績】<受診率> 2歳児:91.9% 2・6歳児:95.5% 5歳児:89.5% <う蝕のない児の割合> 2歳児:98.2% 2・6歳児:92.1% 5歳児:71.4%</p>	幼児のう蝕の減少
	<p>【事業名】1歳6ヶ月児健診・3歳児健診 【対象】1歳6ヶ月児・3歳児とその保護者 【方法】<1歳6ヶ月児> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 <3歳児健診> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導、歯科相談等 ③フッ素塗布 【手順】各健診4回実施 【実績】<受診率> 1歳6ヶ月児:95.2% 3歳児:95.4% <う蝕のない児の割合> 1歳6ヶ月児:98.3% 3歳児:78.3%</p>	受診率の向上
	<p>【事業名】歯周疾患検診 【対象】集団健診:40歳以上の町民 個別健診:40・45・50・55・60・65・70・75・80歳 【方法】歯周病疾患等の検査、歯科衛生士による歯科相談・指導 【手順】集団健診:特定健診時に実施(10日間) 個別健診:8月~3月実施 【実績】受診者数 集団:183人 個別:99人</p>	成人及び高齢者の歯周疾患予防
	<p>【事業名】「8020運動よい歯のコンクール」表彰 【対象】町の成人歯科健診を受けた方で、80歳以上で自分の歯が20本以上ある方 【方法】健康まつりで表彰式を実施 【手順】 【実績】表彰者:12名</p>	歯の健康に対する意識の向上を図り、あわせて健康の保持増進を図る

実施機関	神川町		
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進の重要性について住民全体の共有化を図るとともに、ライフステージごとの効果的な生活習慣病予防対策事業を実施していく 町民の生活習慣の改善に繋がる魅力ある事業展開 食生活改善推進協議会の活動充実 		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)	
28年度	<p>【事業名】健康相談</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】保健師による健康相談を実施(毎週水曜日午前中含む)</p> <p>【手順】広報、町HP等で周知</p> <p>【実績】1,309人(成人:448人 精神:358人 母子:503人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別面接・電話相談・メール相談・乳幼児の計測等 検診やイベント時を含む 	町民一人ひとりが正しい生活習慣を身に付け、QOLの向上を図り、生き甲斐を感じながら生涯いきいきと暮らせることを目指します。(健康増進計画の目標より)	
	<p>【事業名】埼玉モデル 毎日1万歩運動(平成27年度より実施)</p> <p>【対象】20~74歳の住民(平成28年度は150名)</p> <p>【方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> タニタに委託する活動量計(万歩計)をつけて、毎日1万歩を目標に歩 活動量計(万歩計)をつけて、毎日2万歩を目標にウォーキング 月1回タニタヘデーター送信する 体力測定、血液検査などで評価実施。 <p>【手順】①体力測定・血液検査・説明会 ②各自ウォーキング</p> <p>③ウォーキング教室・ボディメイク体操講座・ヘルシー教室等を実施</p> <p>④体力測定・血液検査等で成果の確認</p> <p>【実績】①59名参加</p> <p>③ウォーキング教室:6回、延べ26名・ボディメイク体操講座:2回、29名・ヘルシー教室:3回、延べ10名参加</p> <p>④体力測定:120名・説明会:139名参加</p>		
	<p>【事業名】ウォーキング教室の開催</p> <p>【対象】40歳~74歳までの約20名</p> <p>【方法】6月から3月まで11回開催、健康運動指導士による教室を開催</p> <p>【手順】募集-実施-検証</p> <p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続コース:3日間 参加実人数:24名 参加延べ人数:46人 新規コース:6日間 参加実人数:11名 参加延べ人数:50人 		
	<p>【事業名】健康チャレンジ教室(国保事業)</p> <p>【対象】65歳までの町民、運動制限のない方</p> <p>【方法】保健師、栄養士、スポーツケアトレーナーにより年24回実施</p> <p>【手順】講話と運動。見込延べ人数300人</p> <p>【実績】年24回実施。参加延べ人数349人</p>		
	<p>【事業名】地域健康づくり出前講座</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】保健師等が地域に出向き健康づくり講座を実施</p> <p>【手順】募集・日程調整・実施</p> <p>【実績】年4回実施。参加延べ人数:113人</p>		地域ぐるみでの健康づくり講座の実施
	<p>【事業名】食生活改善推進協議会活動の充実</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】食生活を通じた健康づくり事業の展開</p> <p>【手順】食育の推進、生活習慣病の予防及び食生活改善の推進</p> <p>【実績】年8回実施。延べ参加人数:117人</p>		地域に根ざした食生活改善推進活動の実施
	<p>【事業名】親子料理教室</p> <p>【対象】小学校4年生から6年生の児童及び保護者</p> <p>【方法】食生活改善推進員が中心となり調理実習と講話を実施。</p> <p>【手順】募集・調理実習・保護者の講話</p> <p>【実績】年1回実施。参加人数:34人</p>		子どもが料理することを楽しみ、一人で料理ができることを目指す。
	<p>【事業名】子ども農園</p> <p>【対象】3歳~小学生の親子</p> <p>【方法】栽培から収穫、調理までの一連の流れを経験してもらうことで、子ども</p> <p>【手順】募集・種まき・収穫・調理を体験する</p> <p>【実績】年8回実施。参加実人数:13組の親子。延べ参加人数:110人</p>		親子や家族とのかかわり、仲間や地域とのかかわりを深め、子どもの健やかな心身の発達を促す。

実施機関	神川町	
現状・課題等	・県の示す標準化死亡率(SMR)において、脳梗塞の数値が県内でも高く、糖尿病は減少傾向にあるものの、当町では今だ150を越える高い値を示している。 ・特定健診・特定保健指導の受診率の向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	【事業名】 特定健診 【対象】 国保加入者(40～74歳) 【方法】 集団健診等 【手順】 受診勧奨・実施・評価 【実績】 受診者数:1111人。受診率:38.2%	特定健診受診率 53%
	【事業名】 特定保健指導 【対象】 40歳～74歳の国保加入者等及び受診者の中で指導の必要な方 【方法】 保健師や管理栄養士により訪問による初回面接を行い、6ヶ月間継続できる生活習慣病予防の目標を立て、その成果に基づき評価を行う。 【手順】 計画・対象者抽出・実施・評価 【実績】 指導実施者数:103人。実施率:58.2%	対象者に対し、適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。 特定保健指導実施率 57%
	【事業名】 健診結果説明 【対象】 特定健診受診者 【方法】 保健師・管理栄養士による個別相談を4日間実施 【手順】 計画・実施・評価 【実績】 実施者数:36人	
	【事業名】 重症化予防のための個別訪問 【対象】 特定健診の受診者のうち、血圧・血糖・腎機能の数値が心配な方 【方法】 保健師と管理栄養士による個別訪問・指導を実施 【手順】 計画・実施・評価 【実績】 実施者数:76人	
	【事業名】 生活習慣病重症化予防対策事業(埼玉県・国保連合会との共同事業) 【対象】 ①特定健診受診者のうち、血糖・腎機能の数値が基準以上の方 ②糖尿病性腎症の病期がⅡ～Ⅳ期の方で医師が認めたもの 【方法】 ①医療未受診者・中断者への通知・電話による受診勧奨 ②糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導 【手順】 計画・委託・実施・評価 【実績】 1人(面接や電話支援により行動変容が始まった)	

実施機関	神川町	
現状・課題等	がん検診の若年層の受診率向上	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28 年 度	【事業名】 がん検診受診勧奨啓発 【対象】 全町民 【方法】 町内各種団体の会議、事業時に啓発チラシ配布 【手順】 広報や回覧等で周知。のぼり旗の設置。各種団体の会議等でチラシの配布。成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布。町内幼稚園及び保育所にチラシを配布し受診勧奨。 【実績】 ・広報や回覧等で周知。 ・成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布を行った。 ・町内幼稚園及び保育所に乳がん・子宮頸がん検診のチラシを配布を行った。	がん検診受診率向上
	【事業名】 がん検診推進事業の実施 【対象】 ・子宮頸がん検診:20歳、H23～26年度に対象者で未受診者 ・乳がん検診:40歳、H23～26年度に対象者で未受診者 【方法】 受診無料クーポン券配布し受診勧奨 【手順】 対象者抽出・クーポン券発送・受診・支払い・国へ申請 【実績】 対象者に受診無料クーポン券配布し受診勧奨をした。 受診者 子宮頸がん検診:18人。乳がん検診:36人	がん健診の受診率向上及び未受診者の受診率向上
	【事業名】 がん検診等ポイントカード配布事業 【対象】 全町民 【方法】 がん検診やその他の検診及び教室等に参加することでポイントをため、男性30ポイント、女性40ポイント貯まった方に粗品を進呈する。 【手順】 ポイントカード配布・押印・確認・粗品進呈 【実績】 516人達成	受診率向上

実施機関	神川町	
現状・課題等	・ライフステージに沿った歯科保健サービス体制の構築 ・歯科保健事業の充実及び歯科検診受診率の向上を目指す	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】マタニティデンタルチェック(年2回実施) 【対象】妊婦と配偶者 【方法】歯科医師による歯科検診と講話及び唾液検査 【手順】同上 【実績】年2回実施。延べ参加人数:6人 平成28年度より助産師によるマタニティヨガも行った。	・妊娠中の口腔内を健康やかに保つとともに、生まれてくる子や家族の歯の健康づくりについても意識を高める ・参加率を目標30%
	【事業名】園児歯磨き教室(年5回実施)と小学1年生への歯ブラシ配布 【対象】町内幼稚園と保育所の園児と保護者。小学1年生 【方法】町内歯科医が各施設に出向き講話及びブラッシング指導等を行う 【手順】母子愛育会と連携し実施 【実績】園児歯磨き教室 年5回実施。延べ参加人数:112組 小学1年生歯ブラシ配布:120人	子どもの歯の健康づくりに関心の高い保護者が増え、仕上げみがきが定着し、むし歯のない子が増える
	【事業名】乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導 【対象】6ヶ月、1歳、1歳6ヶ月、2歳、3歳児及び保護者 【方法】歯科衛生士によるブラッシング指導等 【手順】健診に来た人全員に実施 【実績】年26回実施。延べ実施人数:169人 むし歯のない子の割合:1歳6か月児健診 99% 2歳児歯科検診 94% 3歳児健診 75%	むし歯のない子の割合 目標: ・1歳6か月児健診 100% ・2歳児歯科検診 ・3歳児健診
	【事業名】成人歯科検診(年3回実施) 【対象】20歳以上 【方法】特定健診時に実施 【手順】歯科医師による診察・衛生士による相談・指導 【実績】年3回実施。実施人数:48人	自分や家族の口腔の状態に関心を持ち、口腔ケアを実践する人が増える ・歯科検診車を増やす ・毎食後の歯みがき習慣の増加 ・よく噛んで食事をする人が増える
	【事業名】成人歯科個別検診 【対象】30歳から80歳までの5歳きざみの方 【方法】町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察 【手順】歯科医院へ予約し受診 【実績】実施人数:34人	
	【事業名】8020運動 【対象】80歳以上で自分の歯が20本以上ある方 【方法】コスモまつり時に表彰 【手順】歯科検診により抽出又は町内歯科医師からの推薦、本人に連絡 【実績】表彰人数:4人	歯の喪失を防ぎ、よく噛める歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいき過ごすことができる
	【事業名】地域支援事業(年18回実施予定)『いきいき体操10教室各2回』 【対象】一般介護予防事業対象者 【方法】衛生士による口腔指導・相談、口腔体操 【手順】集団指導 【実績】延参加者数231人に実施	口腔健康の意義への理解

実施機関	神川町	
現状・課題等	保健統計及び健診結果、医療費等の分析を行い、神川町の現状と課題に即した疾病予防対策を実施。また、研修を重ねて保健師等の資質向上を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】健康課題分析事業の実施及び保健指導等に関する研修会への参加 【対象】保健師、看護師、管理栄養士等 【方法】健診データ・レセプト分析等により健康対策、疾病予防対策立案 【手順】隔月ごとに町広報に認知症予防のための正しい知識、啓発の記事及び簡単な料理のレシピを掲載 【実績】神川町健康課題分析事業 ~平成27年度報告書~を作成	町の健康課題の分析

実施機関	上里町	
現状・課題等	がん検診受診率の向上が必要	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】1-①がん検診受診勧奨</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】①40歳男女に健康手帳の配布とがん検診等の受診啓発を目的に個別通知 ②30歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付受診勧奨の個別通知 ③各世帯毎に申込書配布 ④町内保育園・幼稚園を通じて子育て世代の女性に対して子宮頸がん検診受診勧奨ちらしの配布</p> <p>【手順】次年度のがん検診申込みが開始されるタイミングで対象年齢の方に受診勧奨</p> <p>【実績】計画どおり①～④を実施</p> <p>【事業名】1-②がん検診受診勧奨「上里町いきいきスタンプラリー」</p> <p>【対象】各種検診受診者・教室参加者</p> <p>【方法】スタンプラリー対象事業に参加することにスタンプを押印し、賞品交換条件を満たした方に賞品を贈呈。対象事業には生涯学習課、高齢者いきいき課主催のものも含む。</p> <p>【手順】検診や教室等で台紙の配布や押印、景品引きかえは保健センターで行う。</p> <p>【実績】計画どおり実施。スタンプラリー修了者は43名</p> <p>【事業名】2. がん検診啓発事業</p> <p>【対象】全町民</p> <p>【方法】①庁用車でPR(マグネット)②がん予防教室</p> <p>【手順】②については男女共同参画推進センターと共同実施。</p> <p>【実績】計画どおり実施。がん予防教室は95名が参加した。</p> <p>【事業名】3. がん検診推進事業</p> <p>【対象】国の「新たなステージに入ったがん検診総合支援事業」により、子宮頸がん検診及び乳がん検診については対象者へ無料クーポン券を送付を行う。また、大腸がん検診は「上里町大腸がん検診推進事業」として40歳男女(28年度は41歳も含む)を無料とする。</p> <p>【方法】①がん検診推進事業の事業説明のPR(上里町ホームページ等) ②検診の無料クーポン券の配布(子宮頸がん・乳がん検診) ③40歳・41歳男女に「上里町大腸がん検診推進事業」の周知及び受診勧奨の個別通知。</p> <p>【手順】がん検診の実施にあわせ、クーポン券等の配布を実施。</p> <p>【実績】計画どおり実施。クーポン券等利用率は、子宮頸がん検診(8.5%)、乳がん検診(9.8%)、大腸がん検診(5.3%)</p>	全がん検診受診率の向上 目標:50%

実施機関	上里町	
現状・課題等	生活習慣病予防のための教室として「健康づくり応援塾」を実施していたが、平成28年度からは、健康長寿埼玉モデル「毎日1万歩運動」として新規の内容で健康づくりのための教室を実施する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】健康サイクルかみさとプロジェクト「毎日1万歩ウォーキング」</p> <p>【対象】20～74歳の町民の方で運動制限のない方</p> <p>【方法】毎日のウォーキング、身体・体力測定、血液検査、筋トレや食事の教室等</p> <p>【実績】参加者:99人 教室等実施回数:10回(延べ参加人数:416人)</p>	生活習慣病予防のための規則正しい生活習慣の知識普及と定着化

実施機関	上里町	
現状・課題等	目標としている受診率には達成していない状況のため受診勧奨実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】特定健康診査受診勧奨</p> <p>【対象】40～74歳までの国民健康保険加入者のうち健診未受診者</p> <p>【方法】①広報掲載②はがきによる受診勧奨個別通知③電話で受診勧奨</p> <p>【実績】①広報 4,6,7,8,9,10,12,1,2月号へ掲載 ②健診予約者・日程通知 健診を予約したが予約日に未受診者・受診勧奨通知 前年度受診者のうち健診を予約していない人・受診勧奨通知 ③前年度受診者のうち健診を予約していない人・受診勧奨電話</p>	医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導に準ずる

実施機関	上里町	
現状・課題等	特定健康診査等の結果、糖尿病の検査項目であるHbA1cの値がやや高い方が多いため、糖尿病に対する正しい知識の普及と重症化予防の教室を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 糖尿病予防教室 【対象】 HbA1c6.2%以上又は空腹時血糖110mg/dl以上の方とその家族 【方法】 広報で周知し、さらに特定健診受診者のうち対象者には個別通知。 【手順】 運動実践、糖尿病に関する健康講話、食事診断 【実績】 H29.2/22・3/1・3/8実施 実42人・延96人	糖尿病予防のための正しい知識の普及と生活習慣改善

実施機関	上里町	
現状・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の喪失原因である歯周疾患を早期に発見し、予防する。 ・受診者数が少ない。 	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯周疾患検診 【対象】 40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の男女 【方法】 <検診受診方法> 対象者は委託歯科医療機関に事前予約し、受診する。(受診費用:無料) <周知方法> ①40歳男女に受診勧奨チラシを配布 ②広報やホームページに掲載 ③骨粗しょう症検診での勧奨チラシを配布 ④保健センター等の町施設や実施歯科医療機関にポスター掲示⑤40・50・60・70歳男女(節目年齢)へ受診勧奨ハガキの送付 【実績】 196人/3,560人(受診率:5.5%)	受診者数 受診率

実施機関	上里町	
現状・課題等	骨粗鬆症を早期に発見し、転倒による骨折やロコモティブシンドロームを予防するために実施。早期発見することで、食生活や運動など生活習慣を見直す契機の場合とします。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 骨粗鬆症検診 【対象】 受診希望者 【方法】 ①無料対象者(40・45・50・55・60・65・70歳女性)に個別通知 ②広報掲載 【手順】 肺がん検診(2日間)と同時実施。 【実績】 ①無料対象者(40・45・50・55・60・65・70歳女性)に個別通知 1,458人 H28受診率:20.95%(無料対象の受診者(40・45・50・55・60・65・70歳女性))	受診率:節目年齢 30%以上

実施機関	上里町	
現状・課題等	健康増進・食育推進計画が策定され、計画の基本理念のもと、生活習慣病の予防や健康づくり推進のために全町的に取り組んでいく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」 【対象】 全町民 【方法】 計画の目標を達成するため、全町的に健康づくりに取り組む。 【手順】 各課で計画を念頭に事業に取り組んでもらう。 【実績】 広報誌、教室等で計画を周知。日本女子体育大学と包括的連携協定を締結するなど、行政、地域、大学等が連携をとりながら健康づくりを推進していくための体制づくりを検討した。	28年度から取組み、32年度に中間評価。目標や評価指標は、計画に準ずる。

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康増進計画及び、食育推進計画が未策定	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 健康増進計画及び、食育推進計画の推進 【対象】 全住民 【方法】 情報の収集と検討を行う 【実績】 近隣市町村をはじめとし、情報収集と検討を行い策定の準備をすすめた。	計画の策定に向け、庁内での調整を行う

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康寿命県下ナンバー1を目指した、健康づくり事業の取組みが重要	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 生活習慣病予防事業 【対象】 20歳以上の住民 【方法】 生活習慣病予防について普及啓発に努める 【実績】 プラス1000歩運動を実施する中で、運動・栄養など様々なテーマの教室を開催し、生活習慣病予防の普及啓発が行えた。	啓発事業の実施

実施機関	寄居町	
現状・課題等	健康寿命県下ナンバー1を目指した、歯科口腔保健の取組みが重要	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯科口腔保健推進事業 【対象】 全住民 【方法】 歯科イベントなどを実施、口腔保健の知識の普及・啓発に努める 【実績】 5月に歯科イベントを実施し、98名が参加した。1歳6カ月児健康診査3歳児健康診査では、歯科指導を実施したほか、3歳児では希望者にフッ化物塗布を行った。	歯科保健事業の実施

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	生活習慣病の予防や生活習慣の改善を促進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が埼玉県健康長寿計画の目的であり、地域における生活習慣病の発症と重症化予防が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 各市町健康増進・食育推進計画策定及び推進体制の整備 【対象】 各市町、健康づくり関係団体、民間企業を含む食育関係団体等 【方法】 会議・研修会の開催 【手順】 食育・健康づくり関係団体の支援、研修会の開催 【実績等】 食育ネットワーク研修会 6月29日児童福祉・教育機関職員79人参加 適塩を目指した食環境整備研修会(対象:自治体・食品企業) 10月7日41人、11月22日36人参加	生活習慣病の発症と重症化予防の取り組み

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域住民の健康課題を明確にし、課題となった生活習慣病の発症と重症化予防のための事業の展開が求められている。 市町と協力しデータヘルス計画策定と健康課題を改善することが課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 医療保険者のデータヘルス計画策定支援事業 【対象】 各市町、健康保険組合、健診実施機関 【方法】 会議や研修会の開催、市町や健康保険組合等の支援 【手順】 市町健康課題対策会議の開催 【実績等】 地域保健連携セミナー(市町健康課題対策会議) 11月22日 23人、12月22日 29人 保健指導実務者研修会 4月26日31人、5月13日22人	データヘルス計画の策定による効果的な保健事業の実施

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	地域包括ケア体制の整備に伴い、在宅における歯科口腔保健体制の整備が求められている。在宅療養者の口腔ケアの実施が課題である。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯科口腔保健計画推進事業 【対象】 各市町、歯科医師会、歯科衛生士会、地域包括支援センター等 【方法】 会議の開催 【手順】 保健所歯科口腔保健連携会議の開催 【実績等】 保健所歯科口腔保健連携会議 9月15日 29人参加	在宅介護・医療の担い手向けの口腔ケア研修会の実施

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	特定健康診査・特定保健指導の効果的、効率的な実施の支援を行い、生活習慣の改善による予備軍の早期発見と重症化の防止を図るために受診率の向上が課題	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 地域・職域連携推進事業(保健指導実務者研修会<熊谷・秩父・鴻巣・加須保健所共催>) 【対象】 市町の特定健診主管課担当者、特定健診・保健指導委託医療機関他 【方法】 研修会及びロールプレイング 【手順】 健康課題解決に向けた技法の評価及び検討を重ねる。 【実績】 効果的な保健指導支援2回、KDBデータを活用した地域の健康課題把握や効果的な保健事業の展開を目指す研修会2回等を開催した。	特定健診の受診率向上及び地域の健康課題の把握に努める

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	生活習慣病予防や重症化予防を目的に若年期からの食育の推進を行う必要があるが、特に働き盛りの世代に対しアプローチをする機会が得られにくい。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 食育推進事業 【対象】 管内の食育に関わる学校、保育園等の職員 【方法】 研修会等 【手順】 第3次食育推進計画の周知、効果的な食育事例の紹介、アンケートの実施、評価 【実績】 県食育推進計画の周知、町の食育推進計画策定支援、20代学生への食育の実態アンケートの実施、課題解決に向けた研修会の開催等を行った。また食物アレルギーに関する研修会やエビベン実習等も行った。	食に対する正しい情報の選別や活用ができる

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	小児う蝕予防対策のために、関係機関での歯科保健状況の把握、情報共有が必要である	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 歯科口腔保健連携会議 【対象】 管内市町、歯科医師会、歯科衛生士会 【方法】 会議 【手順】 関係機関による情報交換、課題検討を行う 【実績】 第1次埼玉県歯科口腔保健推進計画の進捗状況や第2次計画について情報提供を行うとともに地域在宅歯科医療推進拠点の活動や在宅歯科医療の実際について口腔アセスメントの現状と報告があり同会議の在り方も含め今後の課題について検討された。	地域の歯科口腔保健課題の把握に努める

事業名 健康危機管理体制の整備充実

目標 大規模な災害発生時に、管内で適切に医療が提供されるよう、行政、医療機関などの関係機関の連携強化を図ります。さらに、災害時における各機関・団体の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう環境を整備します。新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合に備え、地域医療体制の整備、関係機関の連携、研修・訓練の実施に努めます。また、大規模集団感染などの事例が発生した場合には、保健所、市町、医療機関等が協力して住民の生命・健康の保護に努めます。

主な取組 ■大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組
 ■中長期的な健康管理活動の確保
 ■新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
実施主体: 保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部

平成28年度 北部保健医療圏圏域別取組実績

実施機関	熊谷市医師会	
現状・課題等		
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 災害時における医療救護活動 【対象】 一般市民 【方法】 医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう整備を進めた。 【手順】 11月8日及び29日に、熊谷市消防本部及び熊谷総合病院を会場に、15人の会員が参加し、トリアージ訓練を行った。	

実施機関	本庄市児玉郡医師会	
現状・課題等	平成27年度に本庄市との間で災害時医療救護の協定を結んだ。今後、他の町との協定書の締結を進める。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 災害時の医療救護活動に関する協定書締結 【対象】 医師会、本庄市を除く3町(本庄市児玉郡) 【方法】 各町と医師会との検討会開催 【手順】 【実績】 上里、神川、美里町と協定書を締結した。	本庄市を除く3町と協定書を締結する。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	防災連絡網は出来ているが、連絡手段が固定電話番号のみとなっている。災害時に有効なものとするために、複数の連絡手段の作成が必要と思われる。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 熊谷市歯科医師会災害対策本部 【対象】 熊谷市歯科医師会会員(全会員) 【方法】 災害対策本部の設置 【手順】 【実績】 熊谷市歯科医師会防災連絡網の整備を行った。	災害に備え全会員を組織化する

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	平成28年3月29日(火)に災害時における医療救護活動に関する協定を締結した。より綿密な協力体制を整える必要がある。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 熊谷市総合防災訓練 【対象】 【方法】 会議への参加及び訓練への会員の派遣 【手順】 【実績】 8月26日熊谷市総合防災訓練に参加	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、災害時の協力体制を整える。

実施機関	(一社)熊谷市歯科医師会	
現状・課題等	身元確認における口腔内チャートの採得等、会員全体のスキルアップが課題である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 防災連絡協議会、身元確認班研修会 【対象】 【方法】 協議会、研修会への会員の派遣 【手順】 【実績】 8月25日埼玉県歯科医師会防災連絡協議会、身元確認班研修会参加	会員を派遣し、得られた情報を会にフィードバックして、会員のスキルの向上を図る。

実施機関	大里郡市歯科医師会	
現状・課題等	大規模な災害発生時に地域住民にへの適切な歯科医療を提供するシステムづくり。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 大規模災害対策推進 【対象】 大里郡市歯科医師会 【方法】 健康危機管理体制の整備充実 【手順】 埼玉県歯科医師会作成の災害時歯科活動マニュアルの配備 災害発生直後の被害状況報告書の整備と連絡経路の作成 埼玉県歯科医師会災害時ハンドブック常備	会員の啓発・防災対策システムづくりと整備

実施機関	(一社)熊谷薬剤師会	
現状・課題等	大規模災害時における医薬品の供給や医療提供体制の確保に向けた取組	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 健康危機管理体制の確立と検討 【対象】 市民 【方法】 産業祭での展示、広報「くまやく健康だより」掲載 【手順】 1. 大規模な災害発生時は住民の生命を第一に北部保健医療圏地域保健医療協議会健康危機管理専門部会検討資料に基づき行動をする。 2. 新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合の会としての対応を検討する。 3. 熊谷市災害時医療教護活動マニュアルに基づき行動する。 【実績等】 平成27年度に熊谷市と三師会との間で締結された「災害時における医療教護活動に関する協定書」に基づき、定例会・理事会等で検討を行った。 埼玉県薬剤師会主催の災害支援研修会に会員を派遣した。	準備態勢を平常時から会で検討する。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	サイボウズによる、会員間での情報共有。携帯電話での緊急時連絡。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 大規模災害時における医療提供体制の確保 【対象】 地域住民・会員 【方法】 会員間で日常から連携を強化する。災害時での薬剤師の役割を認識する。熊本に行ったボランティア薬剤師に話をきく。 【実績】 サイボウズにより、会員間での情報共有は、行った。	災害時における薬剤師の役割等について学ぶ。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	災害が長引いた時にどうしたら良いか健康維持・管理について学び情報提供する。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年	【事業名】 中長期的な健康管理活動 【対象】 地域住民・会員 【方法】 実際に被災地に行った薬剤師の話をきき、対処法について学ぶ。 【実績】 県薬剤師会による、災害時の研修会に参加した。	薬剤師に出来る事を住民に知ってもらう。

実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザ、新興感染症について学ぶ。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】感染症に対する対策の強化 【対象】会員 【方法】講習会等で知識を深め、かつ連携をとる。 【実績】定例会の時に、周知した。	いち早く正確な情報を得て、提供する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	健康危機管理体制そのものが当薬剤師会では構築できておりません。まずは行政の関連部署と協議させていただき、どのような順番にしてその都度何ができるかというマニュアル作成を手がけたい。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組 【対象】寄居薬剤師会薬局、寄居薬剤師会々員 【方法】3月に協定を結んだ内容にそって、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供業務が円滑にすすめられるように準備をします。その拠点として寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について可能かどうか検討し、できることは実践します。 【実績等】災害発生当日、1日目、3日目、7日目というような計時的に何をすべきかというマニュアルはできておりません。	まずは災害発生当日、1日目、3日目、7日目というような計時的に何をすべきかというマニュアルを作成する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研究し、できることを実践します。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】中長期的な健康管理活動の確保 【対象】会員薬局 【方法】薬物治療を行っている患者様が疾病状態から脱却するまでに実施すること、その脱却後元にもどらないような助言や指導を各疾病別に検討し、随時患者様にお話する。疾病予防や健康増進の提案をする。 【実績等】会員薬局において、個別に活動し評価します。また研修会の折に特記的な事例はその会員薬局に発表する機会を年2回の通信にて発表しました。	疾病と薬剤の研修だけでなく、疾病から治って元に戻らないような助言や指導の研修会を開催する。

実施機関	寄居薬剤師会	
現状・課題等	新型インフルエンザが流行した時は抗インフルエンザ薬やマスクの入手が困難となり大変なことが起こり得るということを想定しながら対応策を練り、準備をする。	
実施内容(事業名、対象、方法、手順等)		目標(評価の指標)
28年	【事業名】新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化 【対象】会員薬局 【方法】日頃から抗インフルエンザ薬や抗生剤、消毒薬、マスク等の備蓄をし、その管理を行う。インターネット等活用し必要でタイムリーな情報を共有する。 新型インフルエンザが流行した時のことを思い浮かべて各会員薬局が行動することを周知します。 【実績等】定期的で開催している研修会に危機管理の時間をつくり必要な情報を伝える機会を持っていませんでした。	定期的で開催している研修会に危機管理の時間をつくり必要な情報を伝える。

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	大規模災害等に備えるため、熊谷市地域防災計画に基づき関係機関との連携強化を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 災害医療対策マニュアルの策定 【対象】 医師会、歯科医師会、薬剤師会 【方法】 平成26年度にマニュアルが完成し、平成27年度に三師会と災害時の医療活動に関する協定を締結したので、引き続き、災害時の医療救護活動体制の連携強化について協議する。 【実績等】 引き続き、協議を継続した。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時における各機関の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 総合防災訓練の実施 【対象】 医師、看護師等 【方法】 熊谷市総合防災訓練において、救護所運営訓練を行う。 【手順】 【実績等】 8月27日に実施した。参加機関は、61機関、697人だった。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の発生に備えるため、予防接種体制の構築を図ります。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 予防接種体制の整備 【対象】 熊谷市、医師会、医療機関 【方法】 特定接種者の把握及び登録を行うとともに、予防接種体制を整備する。 【手順】 【実績等】 特定接種対象者の登録をするとともに、特定接種を行う医療機関と覚書を締結した。	

実施機関	熊谷市	
現状・課題等	災害時に必要不可欠な、応急手当の普及啓発に努めます。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 救命講習会の開催 【対象】 一般市民及び各種事業所 【方法】 電話による受付 【手順】 ・市報の公募による受付・開催 ・希望する場所での出張開催 【実績等】 63回、受講者数1,397人	年間60回 受講者数1,500人

実施機関	本庄市	
現状・課題等	本庄市地域防災計画により実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しているが、その見直しも行われている。災害時要援護者避難支援プランを策定。新型インフルエンザ等対策行動計画を策定。また、有事の時に機能するよう行動マニュアルの作成が必要。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 災害時の医療救護活動に関する協定 【対象】 医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】 災害時における各関係機関との連携を確保 【手順】 協定書に則り実施 【実績】 医師会と災害時協定を締結	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する的確、適切な初動体制の確保
28年度	【事業名】 災害時要援護者避難支援体制の整備 【対象】 災害時に地域での支援を希望する要援護者抜粋 【方法】 災害時要援護者避難支援プランの推進。災害時を想定した連携の確認 【手順】 支援希望者リストおよび個別支援計画の作成・情報更新 【実績】 地域防災計画に基づき、災害時における要援護者避難支援体制を維持	

実施機関	本庄市	
現状・課題等	地域住民参加による総合的な防災訓練を実施。 (総合防災訓練年1回・土砂災害防災訓練年1回)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 本庄市総合防災訓練 【対象】 中央小学校区域内の住民・児童・市職員等 【方法】 天災を想定しての避難、救出、救護、消火等の訓練 【手順】 小学校校庭を会場に実施 【実績】 地域住民参加による実践的な防災訓練を実施	災害時を想定し、負傷者や疾病患者に対する適切な避難誘導および情報伝達体制の確保
28年度	【事業名】 土砂災害・全国統一防災訓練 【対象】 児玉(下町)地区住民・市職員等 【方法】 避難訓練、情報伝達訓練 【手順】 対象地区の自治会を中心に、消防・警察・行政関係者が合同訓練を実施 【実績】 訓練参加者:161人	

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	防災意識の高揚・対応能力の強化、防災関係機関、市民、事業所との連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷市総合防災訓練 【対象】 市、防災関係機関、市民、事業所等 【方法】 実践的かつ効果的な各種訓練を総合的に実施。 【手順】 大規模災害想定訓練(震災) 【実績】 9月3日消防本部66名参加	災害対応能力の強化、防災体制の充実及び防災意識の高揚を図る。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	関越自動車道における災害の発生に対し、被害を軽減するため関係機関の連携強化。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 関越自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練 【対象】 消防、警察、埼玉DMAT、東日本高速道路(株) 【方法】 多重衝突事故等を想定した、各関係機関との連携訓練。 【手順】 高速道路上での多重衝突事故を想定し実施 【実績】 10月6日消防本部16名参加	各機関が連携した有効かつ効果的な活動ができるようにする。

実施機関	深谷市消防本部	
現状・課題等	トンネル等における自動車の火災事故防止策について。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 皆野寄居バイパストンネル防災訓練実施 【対象】 消防、警察、土木整備部、道路公社 【方法】 寄居トンネル内で車両事故を想定した、各関係機関との連携訓練 【手順】 トンネル内での車両事故を想定し実施 【実績】 11月9日消防本部3名参加	利用者の安全確保と災害発生時の対応の円滑化を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	医師会・歯科医師会・薬剤師会との協定を締結している。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 災害時の医療救護活動/応急医薬品の協力に関する協定 【対象】 医師会・歯科医師会・薬剤師会 【方法】 災害時における各関係機関との連携 【手順】 応急救護所を開設し、医師会に医療救護班の派遣を要請する。また、医薬品等を必要とするときは、薬剤師会に医薬品等の供給について協力を要請する。	利用者の安全確保と緊急時の対応体制の充実を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	市主催による総合防災訓練を実施 平成28年度実績 来場者数 2,906人	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 深谷市総合防災訓練 【対象】 防災関係機関、関係団体及び市民 【方法】 応急救護所運用訓練ほか 【手順】 応急救護所及びトリアージホストを設置し、医療隊と連携し多数傷病者のトリアージ及び救護を行う。	応急救護所運用訓練の実施により、関係機関の連携体制の確立、確認を図る。

実施機関	深谷市(総務防災課)	
現状・課題等	自主防災会による防災訓練を実施 平成28年度実績 訓練32回、参加者数 2,490人	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 自主防災会防災訓練 【対象】 自主防災会員 【方法】 初期消火、応急救護、炊出し訓練を実施する。 【手順】 消防、消防団、地域防災指導員の指導により、防災訓練を実施する。	防災訓練を行うことにより、日頃からの防災意識の高揚と普及を図る。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市地域防災計画に基づき大規模災害発生時に編成される救護部において、応急救護所での軽傷病者の救護活動を行うとともに、状況に応じ医師会、日本赤十字社、県、保健所等の協力を得て初動体制が運用できるよう、平時から関係機関との連携を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 市主催による総合防災訓練に参加 【対象】 防災関係機関、関係団体及び市民 【方法】 応急救護所運用訓練	応急救護所運用訓練に参加することにより、平時より関係機関との連携を図る。

実施機関	深谷市(保健センター)	
現状・課題等	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、平時から関係機関と連携する必要があること、また発生時の住民接種の対応等について国のマニュアル等の情報収集に努める必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 国が策定するマニュアル等の情報収集、県等が実施する研修会への参加 【対象】 市職員、市民等 【方法】 情報収集、研修会参加 【実績等】 ・医師会と調整し特定接種登録(深谷市役所)を実施した。 ・国県の新型インフルエンザ等連絡訓練に参加	振興感染症等発生時に対応できるよう、情報法収集および支援体制整備を図る。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	土砂災害、地震等の災害を想定した図上訓練を実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 図上訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織に町が出前講座を実施 【実績】 図上訓練を実施 8地区 113人参加	災害の予測、避難経路、避難場所等を確認する。また、備蓄品として常備薬、生理用品を盛り込むなど自己防衛、防災意識の高揚や、避難体制の強化を図る。

実施機関	美里町、各自主防災組織	
現状・課題等	初期消火訓練、避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、救護訓練、災害時要支援者避難訓練(疑似体験訓練)などを複数組み合わせ実施	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 防災訓練 【対象】 各自主防災組織 【方法】 各自主防災組織が地域住民を対象とした訓練を実施 【実績】 防災訓練を実施 10地区 382人参加	住民一人ひとりと自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。

実施機関	神川町	
現状・課題等	消防団員の救命技術の向上、地域住民による救護活動の普及啓発	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 消防団員基礎教育訓練 【対象】 入団から3年以内の団員 【方法】 消防学校の教育訓練の基準に基づき実施 【手順】 埼玉県消防協会本庄児玉支部及び埼玉県消防学校で対象者に実施 【実績】 3名	消防団員としての基礎的な火災防ぎよ、救助法、応急手当法を身につける。
	【事業名】 消防団員普通救命講習 【対象】 前回の受講から2年経過の団員 【方法】 普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施 【手順】 児玉郡市広域消防本部に依頼 【実績】 113名	消防団員として、胸骨迫、AEDの使用法、法、異物除去法を身につける。
	【事業名】 消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程 【対象】 消防団幹部団員 【方法】 消防学校の教育訓練の基準に基づき実施 【手順】 埼玉県消防学校で実施 【実績】 1名	幹部団員として災害現場での救助、救命法の指揮要領を身につける。
	【事業名】 消防団員救助資機材取扱訓練 【対象】 消防団員 【方法】 消防団に配備されている救助資機材の取扱方法等の訓練 【手順】 児玉郡市広域消防職員を講師に実施 【実績】 106名	分団に配備されている資機材を災害時に有できるよう訓練を実施
	【事業名】 普通救命講習 【対象】 町民・各種団体 【方法】 普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施 【手順】 神川町消防団応急手当普及員及び児玉郡市広域消防で実施 【実績】 9団体	消防団応急手当普及、町民に応急手当普及・啓発活動及び救命向上を目的とする。

実施機関	神川町	
現状・課題等	災害時における日用品の供給体制の整備	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年 度	【事業名】 災害時日用品給付 【対象】 被災者 【方法】 被災された方に毛布や日用品を支給 【手順】 社会福祉協議会事業にて実施 【実績】 平成28年度実績なし	災害時に迅速に日用品を支給

実施機関	神川町	
現状・課題等	日頃の防災訓練と災害時における住民相互の救助体制の整備	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 夏のボランティア体験プログラム 【対象】 町内小中学生 【方法】 日赤奉仕団協力のもと炊き出し訓練等の実習 【手順】 社会福祉協議会主催 【実績】 8月8、4、17、18日実施。参加者:小学生20名、中学生20名。協力:日赤奉仕団員	災害に対する知識や技術の習得

実施機関	神川町	
現状・課題等	新型インフルエンザ等対策行動計画等を整備し、対策の強化を図る。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 新型インフルエンザ・新型コロナウイルス対策の強化 【対象】 町民 【方法】 神川町新型インフルエンザ等対策行動計画等に基づく対策を実施 【手順】 保健所や医療機関など関係機関と連携し、町民の生命・健康の保護に努める。 【実績】 県実施の新型インフルエンザ対策訓練と一緒に連絡訓練を実施	住民の生命・健康の保護に努める

実施機関	上里町	
現状・課題等	上里町地域防災計画により実施。医師会、歯科医師会と協定を締結(H12)	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 上里町災害対策本部応急活動 【対象】 被災住民 【方法】 初期医療等医療応急体制の整備 【手順】 救護所の設置、医療機関との連携、体制整備 【実績】 なし	災害時の医療体制の確保

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における意識啓発を図り、各自に対応した心構えを平常時に培っておく。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 防災フェスティバル 【対象】 地域住民、日赤奉仕団、消防団、児玉郡市広域消防本部、行政 【方法】 救助訓練、防災食の炊き出し等 【手順】 災害時における対応訓練を実施し、意識の啓発を図る 【実績】 平成29年7月29日実施	災害時の意識啓発を図る

実施機関	上里町	
現状・課題等	災害時における救命技術の向上 普通救命講習は2年に1度実施。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	【事業名】 普通救命講習 【対象】 消防団員 【方法】 応急手当の講習。2年に1度実施。(平成29年度実施予定) 【手順】 未講習の消防団員に講習を実施 【実績】 児玉郡市広域消防本部にて、9/3に2回に分けて実施。	2年に1回実施、消防団員全員

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	大規模災害発生時において、医療提供体制の確保に向け、ドクターヘリ、防災航空隊、緊急消防援助隊、埼玉SMART及びDMATとの定期的訓練が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 防災ヘリ、ドクターヘリ、緊急消防援助隊、埼玉SMARTとの連携訓練</p> <p>【対象】 防災ヘリ、ドクターヘリ、緊急消防援助隊、埼玉SMART</p> <p>【方法】 防災ヘリ、ドクターヘリ、緊急消防援助隊、埼玉SMART及びDMATとの合同訓練を実施する。</p> <p>【手順】 訓練計画を立案し、埼玉県防災航空隊に合同訓練の依頼を行う。また、ドクターヘリ、緊急消防援助隊埼玉SMART及びDMATとの合同訓練に参加する。</p> <p>【実績】 平成29年2月10日に実施</p>	児玉郡市広域消防本部全救急隊が防災ヘリ、ドクターヘリ、緊急消防援助隊、埼玉SMART及びDMATとの円滑な連携活動を行う。

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	大規模災害発生時の長期間にわたる人員・資機材・食料等の確保	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 緊急消防援助隊応援等実施計画</p> <p>【対象】 緊急消防援助隊・職員</p> <p>【方法】 緊急消防援助隊応援等実施計画に基づく後方支援活動</p> <p>【手順】 訓練計画に基づき、緊急消防援助隊との合同訓練を行う。</p> <p>【実績】 実施があるも参加せず</p>	緊急消防援助隊と連携活動がスムーズに行われる。

実施機関	児玉郡市広域消防本部	
現状・課題等	複数の感染症患者が発生した場合、県の業務では対応しきれないことが想定される。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 患者移送に係る保健所等に対する協力体制</p> <p>【対象】 保健所、病院、消防</p> <p>【方法】 必要な協定等の締結</p> <p>【手順】</p> <p>【実績】 感染症の予防及びびまん延防止に関する基準に沿った活動を行う。</p>	協定等を締結し、関係機関との連携強化

実施機関	寄居町	
現状・課題等	災害時の医療活動の対応について事前の想定が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 災害時の医療救護活動に関する協定及び災害時における応急医薬品供給等の協力に関する協定の締結</p> <p>【対象】 深谷市・寄居医師会、大里郡市歯科医師会、寄居薬剤師会</p> <p>【方法】 大規模災害が発生した場合に傷病者に対して医療救護活動及び医薬品等の供給等を行うため、締結した協定に基づき、町が各団体に災害現場等へ派遣等の要請をする。</p> <p>【実績】 災害を想定した研修会へ参加し、対応を確認することが出来た。</p>	災害時の傷病者に対して医療救護活動及び医薬品の迅速な提供。

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	災害時における関係機関との連携強化、職員の対応能力の向上が必要とされる。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】関係機関との災害時通信訓練</p> <p>【対象】拠点保健所管内保健所、市町村、医師会、消防本部</p> <p>【方法】衛星携帯電話・防災無線の通信訓練</p> <p>【手順】保健所間の衛星携帯電話通信訓練、市町、医師会、消防との防災無線通信訓練の実施</p> <p>【実績等】H28.8.23 管内医師会、消防、市町との防災行政無線の通信訓練の実施、H28.10.14,11.17,12.14 県北保健所間の衛星携帯電話通信訓練</p>	大規模災害時の通信手段の確保
	<p>【事業名】災害時公衆衛生活動実地訓練</p> <p>【対象】保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等</p> <p>【方法】大規模災害シミュレーション型訓練・EMIS入力訓練の実施</p> <p>【手順】熊谷保健所危機管理マニュアル(アクション・カード)を作成し、シミュレーション訓練を実施。 EMIS災害モード時を中心に、医療機関の入力訓練を実施。</p> <p>【実績等】H29.1.20 埼玉県北部地震を想定したシミュレーション訓練 参加者77名 講師:国立保健医療科学院 危機管理研究部長 金谷泰宏氏他 H29.2.17 災害時保健活動研修:「多摩立川保健所の災害時保健活動対策の取組」他 参加者45人 講師:東京都多摩立川保健所職員他 H28.6.15,9.15,12.14H29.3.29 医療機関EMIS入力訓練の入力支援</p>	健康危機管理体制の整備充実

実施機関	熊谷保健所	
現状・課題等	埼玉県新型インフルエンザ等対策行動計画等を踏まえ、新型インフルエンザ等の発生に備え、対応体制の構築や訓練の実施、人材の育成等、事前準備の推進を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】医療提供体制の整備</p> <p>【対象】医師会、病院</p> <p>【方法】医療機関への協力依頼</p> <p>【手順】感染拡大期における重症患者の入院病床の確保(4~10月)</p> <p>【実績等】9医療機関に65床を確保(暫定目標病床数 24床)</p>	新型インフルエンザ等発生に備えた体制整備強化
	<p>【事業名】新型インフルエンザ等感染予防体制整備</p> <p>【対象】保健所、市町村、医療機関等</p> <p>【方法】会議・訓練・研修会等の開催</p> <p>【手順】個人防護服の所内着脱訓練の実施(6月) 市町村感染症担当学会議の開催(7月) 感染症患者移送専用車両等使用訓練の実施(10月) 国、県が実施する新型インフルエンザ等対策訓練への参加 新型インフルエンザ等対策会議の開催</p> <p>【実績等】(1)所内防護服着脱訓練の実施 6/13,14 (24名) (2)感染症連絡会議及び蚊媒介感染症研修会の開催 7/4(13名) (3)所内感染症患者搬送訓練の実施 10/26(18名) (4)情報伝達訓練の実施12/13(専用外来と蔓延期入院受け入れ医療機関の9医療機関及び所内)</p>	

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	災害発生時における初動体制について、関係機関の役割分担を整理し、災害に備えること。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 災害発生時における医療提供体制の確保</p> <p>【対象】 関係各機関</p> <p>【方法】 関係機関における役割分担の再確認、シミュレーション訓練、EMISの活用</p> <p>【手順】 1 関係機関(保健所・市町・消防等)の初動体制の確認 2 シミュレーション訓練に参加、役割分担と行動の整理 3 EMISの活用</p> <p>【実績】 災害時公衆衛生マニュアルに基づき、熊谷保健所を中心に実施したシミュレーション訓練に参加し、災害発生時における各機関の役割、情報の伝達・情報の共有、各機関への要請、各機関からの要請に対する対応等について訓練を行った。 EMIS入力訓練で入力支援を行った。</p>	初動体制の確認及び各関係機関との連携

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等の対応を適切かつ的確に行うためには、管内の関係者間での情報の共有や医療体制等の整備が必要である。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 ○新型インフルエンザ等対策会議 ○保健所管内市町感染症担当者連絡会議 ○新型インフルエンザ等入院医療機関の整備</p> <p>【対象】 保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部</p> <p>【方法】 対策会議:北部保健医療圏保健医療協議会において実施 連絡会議:保健所において実施 入院医療機関整備:医療機関訪問</p> <p>【手順】 情報提供により情報の共有を図るとともに、管内の医療体制整備に関する協議を行う。</p> <p>【実績】 発生時の各機関の役割について確認するとともに、管内市町、疾病担当者と共に特に住民接種実施体制の整備について検討した。 蔓延期の入院病床については8床確保した。</p>	情報の共有と管内の医療体制整備

実施機関	本庄保健所	
現状・課題等	新型インフルエンザ等が発生した際に、保健所及び管内関係機関が適切かつ確な対応ができるよう、知識の普及と対応能力の向上を図る必要がある。	
	実施内容(事業名、対象、方法、手順等)	目標(評価の指標)
28年度	<p>【事業名】 新型インフルエンザ等対応訓練</p> <p>【対象】 医療機関、市町職員、保健所職員等</p> <p>【方法】 訓練の実施</p> <p>【手順】 陰圧テント設置訓練、県庁及び管内医療機関との情報伝達訓練、管内関係機関の連絡網の整備を行う。</p> <p>【実績】 保健所職員による陰圧テント設置訓練、熊谷保健所保管搬送車両による患者搬送訓練</p>	新型インフルエンザ等が実際に発生した時に、各機関が機能的に活動できる人材を育成する。

